2015. 9

電子黒板＆タブレット連携アプリケーションソフトウエア

eトーキー GL50 for School

電子黒板用アプリ　取扱説明書

（Ver. 1. 3. 3）

Talkie

Talkie System Co.,LTD.

もくじ

もくじ

もくじ　2

はじめに

ご利用に際しての注意点　4
個人情報の保護について　4
ネットワークに関するお願い　5
ユーザー名とパスワードに関するお願い　5
この取扱説明書の見方　6
システム構成図　7
動作に必要なシステム環境　8
画面・操作パネルの説明　9

操作手順

授業の流れの概要　３０
機器の立ち上げ　３１
アプリの立ち上げ　３２
授業の開始（ＩＤ番号を使った授業）　３３
授業の開始（クラス情報を使った授業）　３６
配布モード　３８
分割画面への書込み　４７
拡大表示　４８
提出モード　４９
描画ツールの使い方　５１
スクリーンショット機能　５２
スタンプ機能　５５
クイズ・アンケート機能　５６
画像の読込み　５９
動画の読込み・再生　６３
エクスプローラを利用しての画像・動画の読込み　６６
テンプレート画像の読込み　６７
カードモード　６８

授業の終了　７０
授業データの保存について　７１

はじめに

このたびは、電子黒板＆タブレット連携アプリケーションソフトウエア＜e トーキーGL50　for School＞（以下＜ｅトーキー®>と呼称）をご利用頂きまして、大変ありがとうございます。
＜e トーキー®＞を使うと、教材や資料・写真などを電子黒板＆タブレット間で簡単にストレスなく共有・配信することができます。また、クイズ・アンケート機能などを搭載することで、より楽しく授業を進めて頂ける環境を準備しております。

＜ｅトーキー®>ご利用に際しての注意点

・極端に大きな画像データや画像の枚数を多く使用するとシステムが不安定になる原因となります。用いる画像数は、ひとつの授業あたり、200 枚程度を上限としてご利用ください。

・お客様もしくは第三者がこの製品を誤って使用したことにより、故障や不具合、及び、それが原因となり損害が発生した場合、法令上の責任が認められる場合を除いて、当社は一切その責任を負いかねますので、ご了承頂けますようお願いいたします。

・＜ｅトーキー®>を利用して著作権の対象となっている著作物を複製・編集し、ご利用になることは、個人的な利用以外は著作権侵害になります。特に、TV や DVD 等の著作権のある写真や資料などを配信する場合には、著作者の許諾を取得してください。また、他人の肖像権侵害などにならぬようご利用方法については厳重なるご検討をお願いいたします。

・＜ｅトーキー®>及び、本取扱説明書は、改良のため予告無く内容を変更することがあります。

個人情報の保護について

本製品で使用する認証情報（ユーザー名、パスワード）、氏名、出席情報、学習履歴情報などは、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」および「個人情報データベース等」に該当します。
これらの個人情報については、法律に従って適正にお取り扱い及び管理ください。
※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」を参照してください。

ネットワークに関するお願い

本製品はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

① 本製品を経由した情報の漏えいや流出

② 悪意を持った第三者による本製品の不正操作

③ 悪意を持った第三者による本製品の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

・コンピューターが接続されているシステムで本製品を使用する場合、コンピュータウィルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。

・不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。

・認証情報（ユーザー名、パスワード)、氏名、出席情報、学習履歴情報、サーバー情報などをネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。

・本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。

ユーザー名とパスワードに関するお願い

本製品を使用する際にご登録いただくユーザー名、パスワードなどの認証情報について、以下の点に注意する必要があります。

①パスワードはユーザー毎に設定し、共有化しないようにしてください。

②内部関係者または外部関係者が、管理不備などによりユーザー名、パスワード発行書類を持ち出して漏えいさせ、もしくは悪意の第三者が、利用に対してショルダーハッキングをおこなったり、周囲に残されたメモ書きなどを参照したりすることで不正にユーザ名、パスワードを入手して正規の利用者になりすますなどの恐れがあります。ユーザー名、パスワードの管理には十分ご注意ください。

③利用者が、パスワードを忘れて認証に失敗し、本製品を使用できなくなる恐れがあります。その場合、システム管理者が、該当のユーザーのパスワードの再登録をしてください。

この取扱説明書の見方

●本説明書は、＜ｅトーキー®>について説明したものです。 本説明書は＜ｅトーキー®>のバージョンアップに伴い内容が更新されます。最新版は、次のホームページアドレスよりダウンロードいただくことが出来ます。

取扱説明書（最新版）　ダウンロードアドレス：

http://talkie.co.jp/etalkie/manual/

●表記等について

・メニュー、ウィンドウ、ダイアログボックス、ボタンなどを、「」で表しています。
（例）「配信」メニューをクリックすると・・・
「戻る」ボタンをタップして・・・

・本説明書に記載されている画面サンプルや操作手順は、代表的な一例です。お使いになられているハードウエアやＯＳ、その他の環境により内容が異なる場合がありますのでご了承ください。

・本説明書では、ハードウエア、及び、Windows などの OS についての説明はいたしておりません。

システム構成図

動作に必要なシステム環境

1．電子黒板用ＰＣ

項　目	内　容
ソフトウエア	① e トーキーGL50 for School サーバーアプリ ② e トーキーGL50 for School アプリ ※ソフトウェアは生徒用タブレットの接続台数により以下の 4 タイプを提供 生徒用タブレットの接続台数：48・35・24・15 クライアント版
動作環境	OS　：Windows 7 Service Pack 1 (32 または 64bit), Windows 8 (32 または 64bit) ※Windows8.1 へのアップグレードを推奨。 Windows 8.1 (32 または 64bit) CPU　：インテル Core2Duo 1.66GHz 以上

2．無線ＬＡＮ機器

項　目	内　容
無線ＬＡＮ機器	・スループットの大きい IEEE802.11n を推奨します。 ・無線タブレットの使用台数と Wi-Fi アクセスポイント（AP）の仕様により、アクセスポイントの複数化が必要になる場合があります。 ・複数の教室で利用される場合は、教室間の干渉の可能性があります。アクセスポイントの選定と設置時の調整が必要になる場合があります。 【電子黒板用電子ペンを利用する際の注意事項】 ・電子黒板用電子ペンの周波数（2.4GHz 帯）との干渉を防ぐ為、無線 LAN では 5GHz 帯の利用を推奨します。 （※Panasonic 製電子黒板 PB-1, PB-2 シリーズをお使いの場合に該当します）

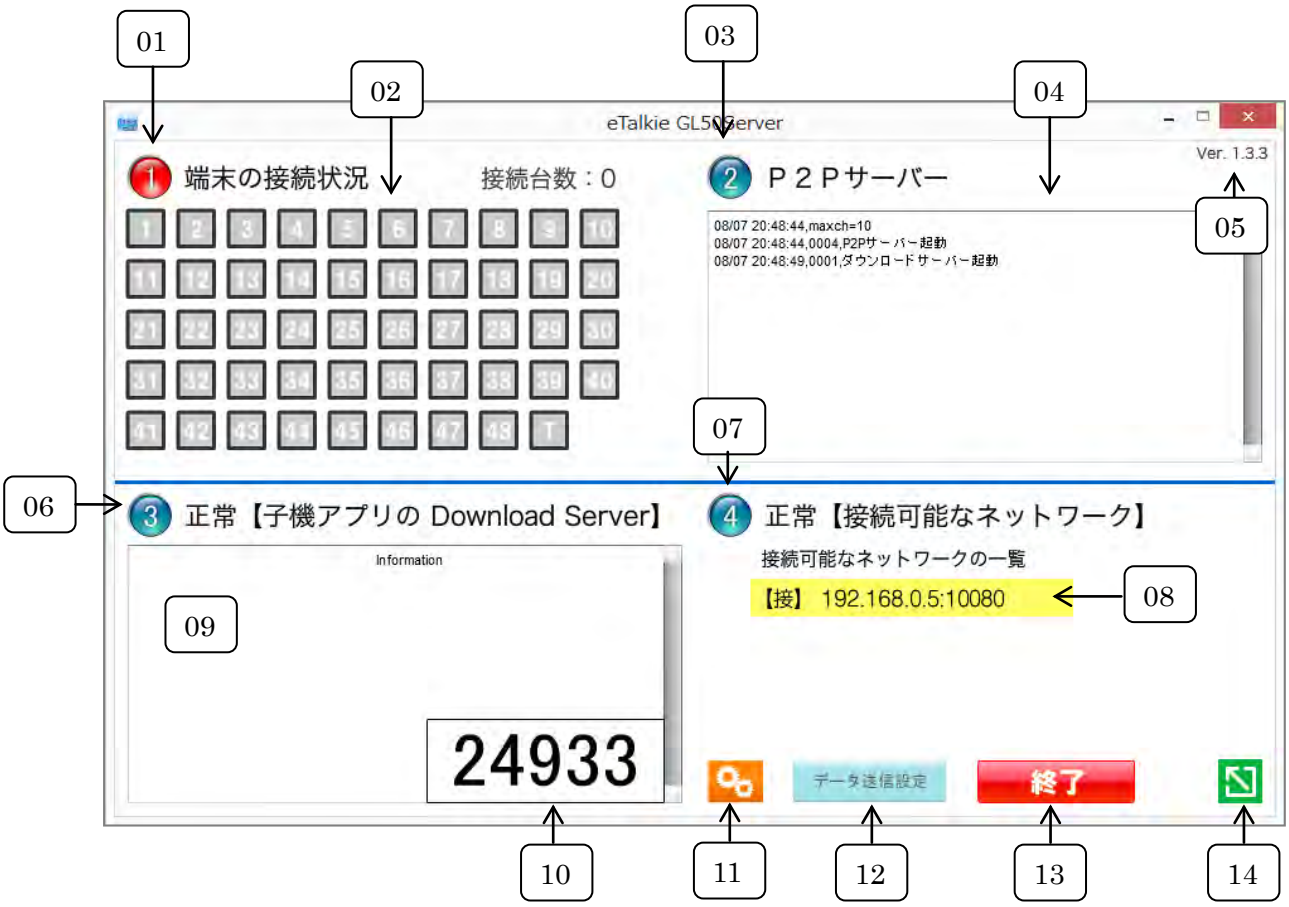
※上記は標準的な要求システム環境です。　コンテンツやご利用環境により上記環境を満たしていてもスムースなコンテンツ作成・配信・表示が出来ない場合もあります。

※上記の内容は、< e トーキー®>アプリケーションソフトウエアのバージョンアップにより随時変更しますのでご了承ください。

画面・操作パネルの説明

1．e トーキーGL50 サーバー

1）トップ画面



番号	ボタン／表示	機　能
01	生徒アプリ接続状態表示インジケーター	生徒端末が接続しているときは青色、接続していないときは赤色で表示されます。 （電子黒板アプリを起動したときにも青色になります）
02	生徒アプリの接続状態表示	生徒アプリが接続すると青色になります。 数字は出席番号を示します。また、右上に接続台数を表示します。
03	サーバー起動状態表示インジケーター	サーバーが正常に動作している場合は青色、正常に動作していない場合は赤色で表示されます。
04	サーバーの動作状況ログデータ	サーバーの動作状況を表示します。
05	バージョン表記 （Ver.X.X.X）	アプリのバージョンを示します。

（つづき）

番号	ボタン／表示	機　能
06	ダウンロードサーバー動作表示インジケーター	生徒用アプリダウンロードに使う Web サーバーが正常起動したときに赤色から青色に変わります。 → 生徒用アプリのダウンロードは、別冊「インストールガイド」の、「生徒用アプリ」の項をご参照ください。
07	ネットワーク接続インジケーター	ネットワークに正常接続している時、青色で表示されます。
08	現在の IP アドレス表示	GL50 サーバーの、現在の IP アドレスを示します。
09	インフォメーション表示	エラーメッセージやその対処法などのインフォメーションを表示します。
10	ＩＤ番号表示	授業ごとのＩＤ番号です。生徒がＩＤ番号により授業に参加する場合はこの番号を入力して参加します。
11	ネットワーク設定ボタン	Windows コントロールパネルの「ネットワーク接続」画面を開きます。
12	データ送信設定ボタン	生徒用アプリへのデータ送信の条件設定を行います。
13	終了ボタン	サーバーアプリを終了します。
14	ウィンドウの拡大・縮小ボタン	サーバーアプリのウィンドウを縮小・拡大します。 ※１

※１

右図は縮小状態のウィンドウ。

2）データ送信設定画面

番号	ボタン／表示	機　能
01	Ch 台数	ひとつのチャンネル（データ送信のまとまり）に割り当てられる生徒端末の台数です。 ※初期値=10（1～48 の間で設定できます）
02	分割サイズ	画像などのデータ送信の際、大きいデータを分割して送信するための、分割データのサイズを指定します。 ※初期値＝51200Byte
03	送信タイプ	順次送信（ひとつのチャンネルへのデータ送信が完了してから次のチャンネルに送信）、固定時間差（指定時間ごとに送信）を選択します。 ※初期値＝順次送信

（つづき）

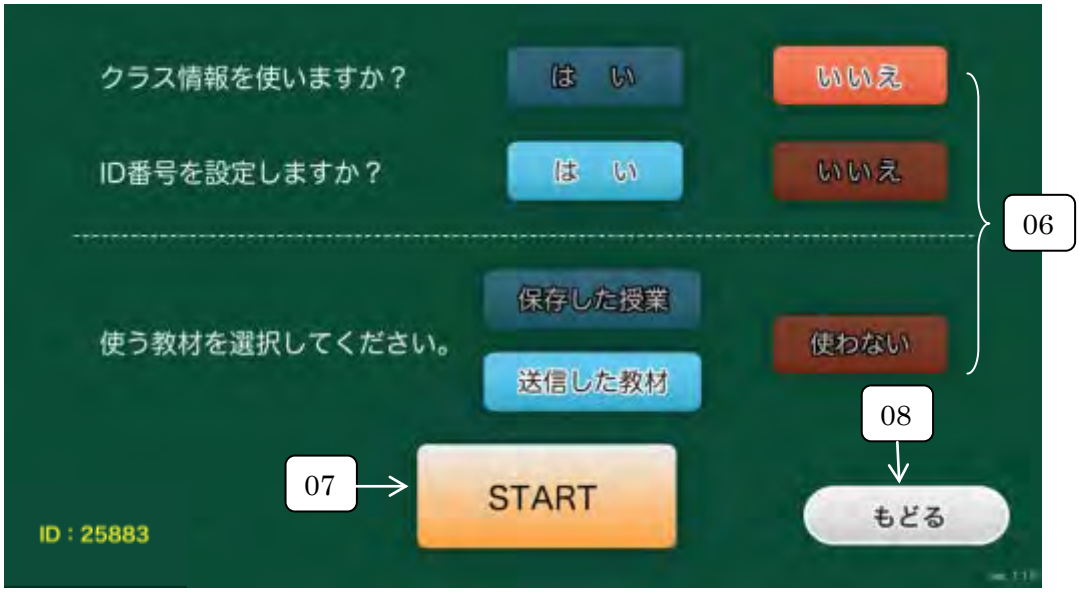
04	Ch 遅延	送信タイプ「順次送信」のとき ひとつのチャンネルへのデータ送信が完了してから次のチャンネルに送信するまでの時間です。 送信対応「固定時間差」のとき ひとつのチャンネルへのデータ送信を開始してから次のチャンネルに送信するまでの時間です。 ※初期値＝1000 ミリ秒
05	Data 遅延	分割されたデータを送信する場合の、ある分割データを送信開始した時間と、次の分割データを送信開始するまでの時間。 ※初期値＝200 ミリ秒
06	データ送信の代表パターン設定ボタン	Ch 台数、分割サイズ、送信タイプ、Ch 遅延、Data 遅延の各パラメータの、代表的な設定パターンを割り当てたボタンです。通常は、これらのボタンから、お使いの環境に適した番号ボタンを選択するだけで、自動的に上記各パラメータに数値が設定され、快適にお使いいただくことができます。 ※ 詳しくは解説ページをご参照ください。
07	設定ボタン	入力した送信条件の値が登録され、元の画面に戻ります。

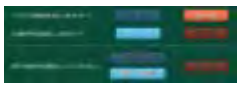
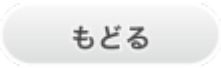
2．起動後の画面

1）トップ画面

アプリの起動直後に立ち上がる画面です。

番号	アイコン	ボタン名称	機　能
01	授業をする	授業をするボタン	授業を開始したい場合に押します。次ページの画面が表示されます。
02	設定	設定ボタン	Windows のコントロールパネル、ペンとタッチ、電源オプション、スクリーンショットの設定画面が開きます。
03	とじる	とじるボタン	画面が閉じ、プログラムを終了します。
04	ID：25883	ＩＤ番号表示	授業ごとのＩＤ番号です。生徒がＩＤ番号により授業に参加する場合はこの番号を入力して参加します。
05	Ver.X.X.X	バージョン表記	アプリのバージョンを表示します。

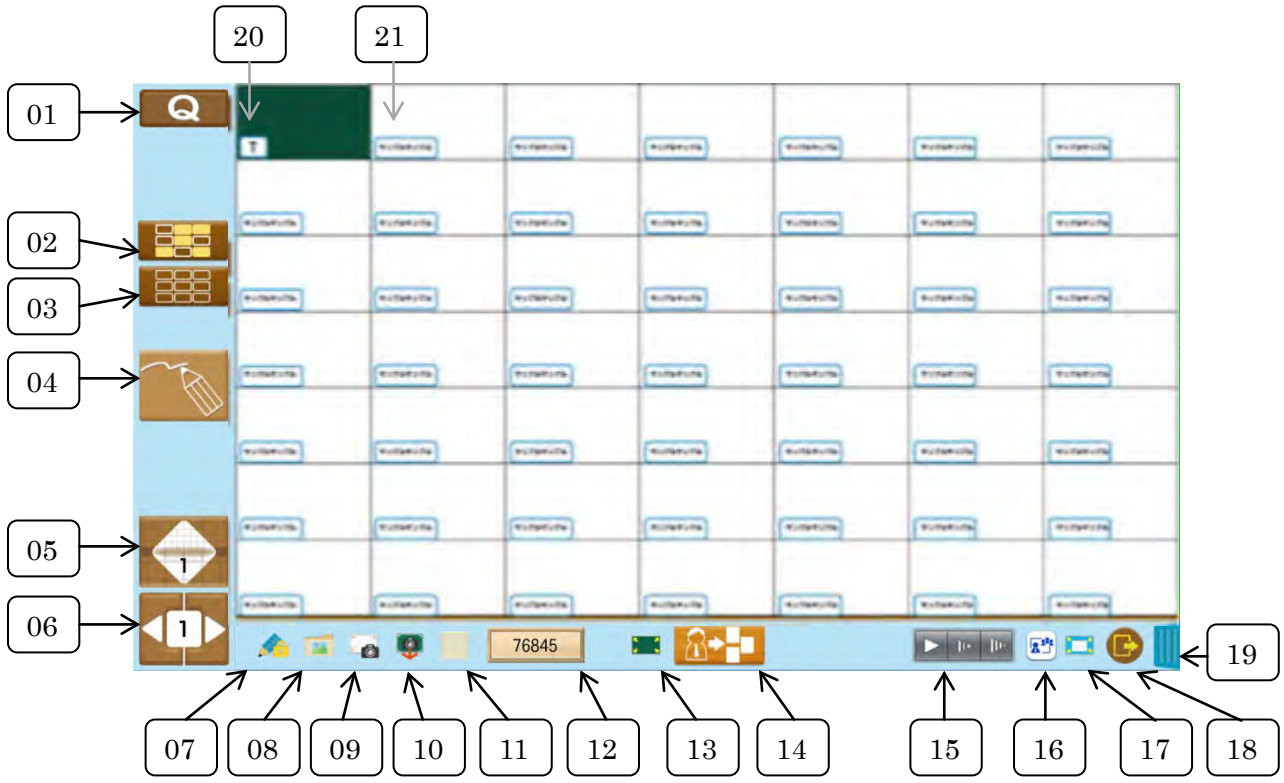


番号	アイコン	ボタン名称	機　能
06		クラス情報、教材使用、ＩＤ番号の設定	クラス情報、教材の使用（保存した教材、送信した教材）、ＩＤ番号の設定について、それぞれ、「はい」「いいえ」で設定します。
07		スタートボタン	押すとホワイトボードが立ち上がり、授業が開始されます。 ※このボタンは 06 をすべて設定し終えると表示されます。 ※「ＩＤ番号を設定しますか？」で「はい」にした場合には、ここを押すとＩＤ番号が表示されます。
08		もどるボタン	前のページに戻ります。

1）ホワイトボード画面

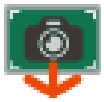
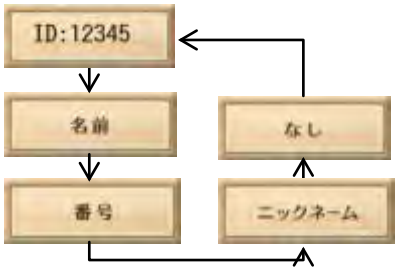
1－1）配布モード画面（初期画面、49 分割画面の例）

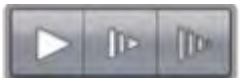
① 配布モード初期画面（選択できる状態）



番号	アイコン	ボタン名称	機　能
01		クイズ・アンケート ボタン	クイズ・アンケートを開始します。
02		ランダム選択 ボタン	分割表示された個々の画面をランダムに選択します。選択画面数は、現在表示されている分割数より 1 段階低い分割数を選択します。先生が手動でいくつかの画面を選択し、残りをランダム選択することも可能です。
03		選択解除 ボタン	分割表示画面において選択した画面を解除します。(画面を選択しているときに表示されます)

04		描画ボタン	分割表示画面において、画面を選択できる状態から、手書きなどができる状態に切り替えます。 → 詳しくは p46 以降を参照ください。
05		分割表示数変更ボタン	上のボタンを押すと分割数の多い表示になり、下のボタンを押すと分割数の少ない表示になります。最大４９分割表示で、３６分割、２５分割、１６分割、９分割、４分割、２分割、分割なしの切替えが可能です。
06		ページ送りボタン	右のボタンを押すと次のページに進み、左のボタンを押すと前のページに戻ります。左の図では、現在、１３ページが表示されていることを示します。（最大は９９ページ）
07		画面操作のロックボタン	押すと全生徒側端末の画面操作をロックします。ロック中は右側のように全体が黄色く表示されます。
08	 	画像登録ボタン 画像削除ボタン	生徒端末で撮影した画像や動画、或いは、電子黒板用ＰＣのローカルフォルダに保存された画像や動画を読込んで表示することができます。 画像を登録すると、このボタンは「画像削除ボタン」に変わります。これを押すと登録した画像が削除されます。

09		スクリーンショットボタン	このボタンを押すと、ｅトーキー画面が閉じ、Windows のデスクトップ画面が表示されます。その左上に下のようなボタンが表示され、別アプリやホームページなどの画面を、スクリーンショットで保存し、ｅトーキーに取り込むことができます。 （詳細は「スクリーンショット機能」の項をご参照ください）
10		自画撮り スクリーンショットボタン	教師用黒板画面（Ｔ黒板画面）の内容をスクリーンショット撮影し、ｅトーキーに取り込むことができます。
11		ブラインドボタン	押すと、生徒用アプリ及び電子黒板上の生徒画面を隠すことが出来ます。もう一度押すとブラインドが開きます。
12		名札表示切替ボタン	押すたびに、名前、番号（出席番号等）、ニックネーム、非表示、ログインＩＤの表示を切替えることが出来ます。  表示を切り替えると、ボタンの右端に確定ボタンが表示されます。この確定ボタンを押すことで画面上の名前表示が切り替わります。 ←確定ボタン ※ログイン ID 表示の時には、確定ボタンが表示されません。 確定ボタンを表示させた状態で他のボタンを押すとキャンセルされます。

13		黒板表示拡大ボタン	押すと、ツールバーを表示せず、黒板面のみ拡大表示します。 拡大表示中は画面の右下に元に戻すボタンが表示されます。
14	 配布モード 提出モード カードモード	モード切替ボタン	デフォルトは配布モードですが、このボタンを押して、提出モード、カードモードに切り替えることができます。
15		再生スピード変更ボタン	黒板上に登録した動画の再生をコントロールします。一番左のボタンを押して再生、まん中のボタンで１／４の速度で再生、右のボタンで１／８の速度で再生します。 各ボタンを押すと、「一時停止ボタン」に変わります。動画の音声は、通常再生の場合のみ再生されます（スロー再生では音はできません）
16		サーバーアプリウィンドウ表示切替ボタン	押すたびに、サーバーアプリのウィンドウと電子黒板画面の表示の上下関係を入れ替えます。
17		ウィンドウ表示切替ボタン	フルスクリーンで表示するか、ウィンドウ表示にするかを切替えます。
18		授業終了ボタン	押すと授業を終了します。

19		ツールバー左右反転ボタン	標準では左側に表示される縦型のツールバーの位置を、左右入れ替えます。
20		教師用黒板画面の名札表示ボタン	教師用黒板は、分割画面において左上に配置されます。 教師用名前ボタンは「T」で表示されます。 名前ボタンを押すと、画面を全端末に表示したり、電子黒板だけに表示したりできます。
21		生徒用端末画面の名札表示ボタン	生徒用名前ボタンは 12 「名札表示切替ボタン」で選択した形式で表示されます。 名前ボタンを押すと、画面を全端末に表示したり、電子黒板だけに表示したりできます。

② 配布モード描画画面（描画できる状態）

番号	アイコン	ボタン名称	機　能
22		クイズ・アンケートボタン	クイズ・アンケートを開始、終了します。 左：開始前（押すと開始します） 右：アンケート実施中（押すと終了します）
		ペンツールボタン	手書きで描画する時にこのボタンを押します。 ペンパネルで「えんぴつ」と「マーカー」を選択できます。
		消しゴムボタン	なぞった部分の描画を消すことが出来ます。消される範囲は、半透明の灰色で表示されます。 消しゴムパネルで「全消し」と「部分消し」を選択できます。 「全消し」は一度に消すことができます。

22		色ボタン	色パネルを表示し、、ペンツールで使用する鉛筆、マーカーの色を選択できます。
		線の太さボタン	線の太さパネルを表示し、鉛筆、マーカー、消しゴムを使うときの線の太さを選択できます。
		線の種類ボタン	線の種類パネルを表示し、直線、自由曲線、四角形、円を選択できます。
23		拡大ボタン	1 画面表示のときに表示されます。押すと拡大操作モードになり、画面をタップ（クリック）するごとに、3 段階で拡大され、4 回目にタップ（クリック）すると元の大きさに戻ります。
24		マジック消しゴムボタン（マジ消しボタン）	押すたびに、描いた文字や図形を、一筆書き単位で取消すことができます。ページをめくると、そのページの内容は取消せなくなります。
25		分割選択画面表示ボタン	分割画面を表示し、各生徒の画面を選択することができるようにします。

1－2）提出モード画面（49 分割、初期画面）

① 提出モード初期画面（選択できる状態）

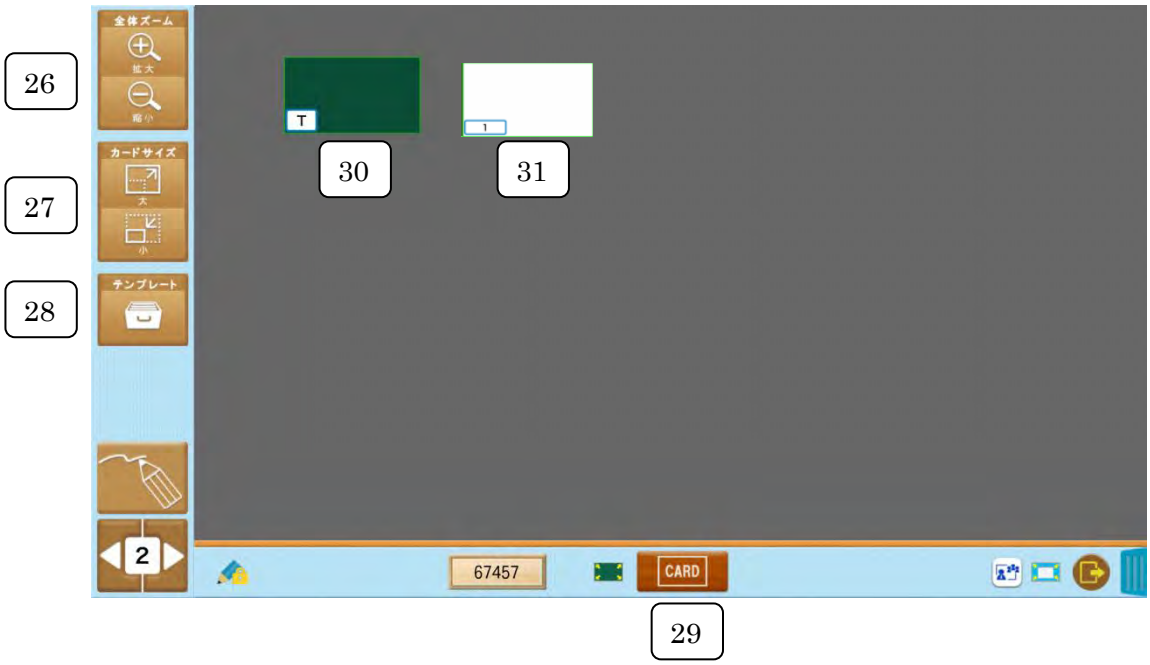
② 提出モード初期画面（描画できる状態）

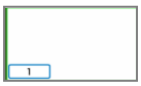
（注意）

・提出モードでは、クイズ・アンケートボタンは使えなくなっています。

・描画できる状態のとき、1 分割表示のときはその画面内に描画でき、２分割以上の表示のときは、画面をまたがって描画することができます。（→ p46 をご参照ください）

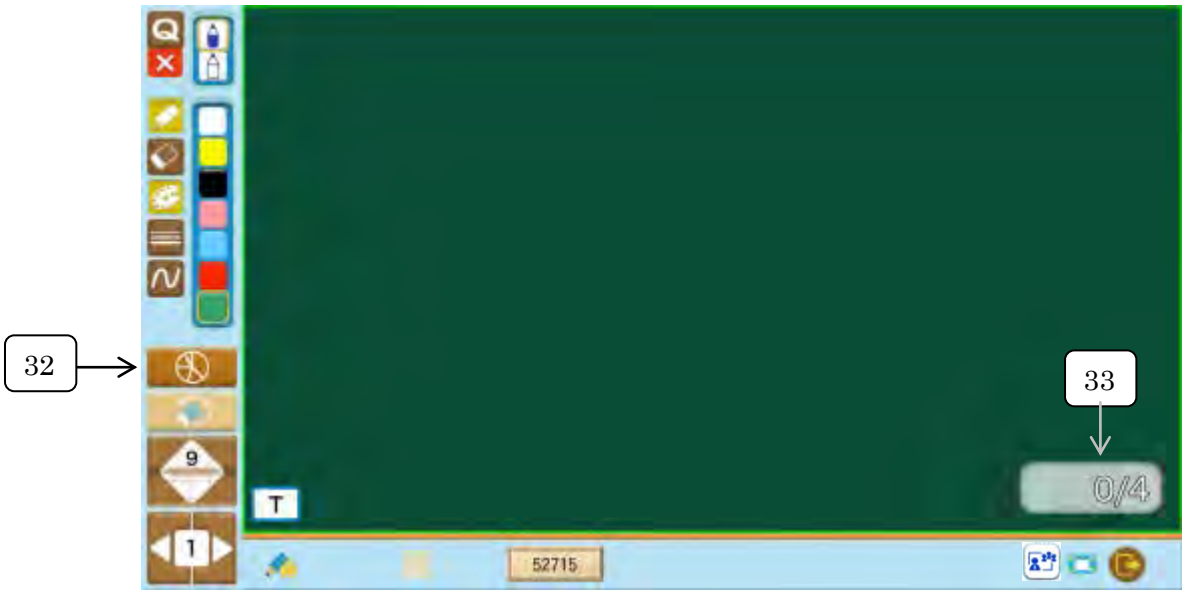
1－3）カードモード画面



番号	アイコン	ボタン名称	機　能
26		全体ズーム ボタン	押すと、画面全体（含テンプレート）が拡大、縮小されます。
27		カードサイズ ボタン	押すと、カード画面のみが拡大、縮小されます。
28		テンプレート ボタン	押すと、登録されているテンプレート一覧画面が表示され、背景画像を選択することができます。
29		カードモード ボタン	カードモードであることを示しています。 押すと、配布モードに戻るためのダイアログ画面が表示されます。
30		教師用黒板画面	電子黒板アプリの画面を表示します。
31		生徒端末画面	各生徒の画面を表示します。

１－４）クイズ・アンケートモード画面

① クイズ・アンケートモード（初期画面）

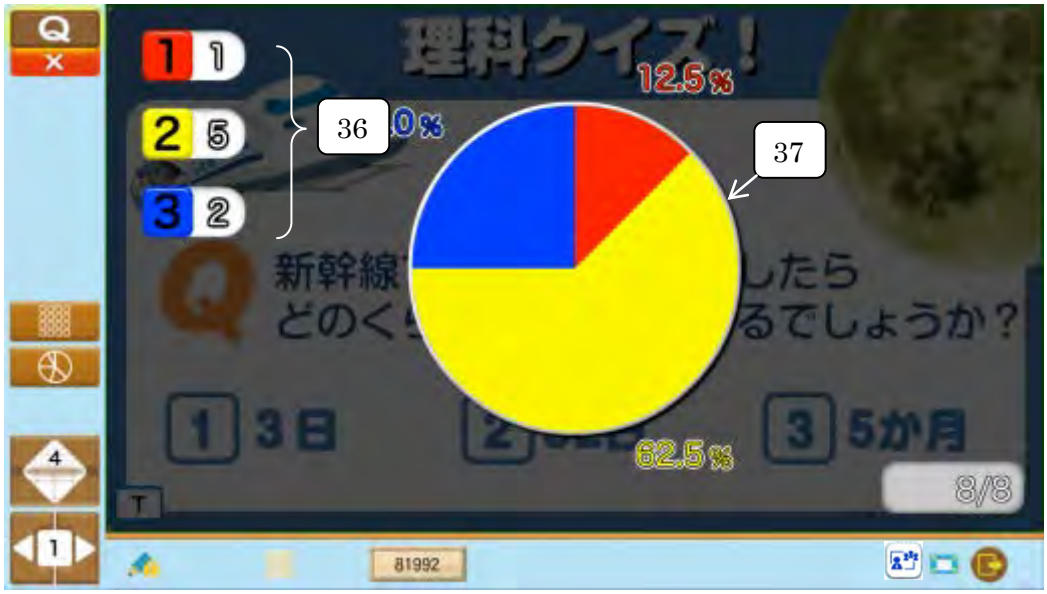


番号	アイコン	ボタン名称	機　能
32		グラフ表示ボタン	アンケートモード画面で、グラフ画面を表示します。 ※アンケートの内容により、棒グラフ（数集計）、または円グラフ（割合%集計）を表示します。
33		回答者数表示	アンケートへの回答者数／全生徒数（授業に参加している端末数）を示します。

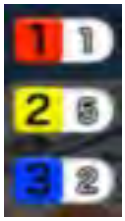
② クイズ・アンケートモード（グラフ画面１）　複数回答（答えが複数）の場合に表示

番号	アイコン・表示	ボタン名称	機　能
34		分割画面表示ボタン	分割画面表示して、各生徒の回答状況を色別で表示します。
35		グラフ表示１（棒グラフ）	アンケートの集計を棒グラフで表示します。棒グラフは、複数回答を可能にしてアンケートを出題した場合に表示されます。アンケートは複数選択（２択～５択）で設定でき、集計結果答番号ごとに色分けしてグラフと回答数で表示されます。 右下の数字（この例では４８）は、アンケートに回答した人数を示します。

③ クイズ・アンケートモード（グラフ画面２）　単一回答（答えが一つ）の場合に表示



④ クイズ・アンケートモード（グラフ画面３）　単一回答の場合の、答え合わせ画面

番号	アイコン・表示	ボタン名称	機　能
36		集計結果表示	アンケートの集計結果（回答数）を示します。
37		グラフ表示	アンケートの集計を円グラフで表示します。円グラフは、単一回答（答えが一つ）の場合に表示されます。
38		答え合わせボタン	クイズ・アンケートの答え合わせ画面が表示されます。 ※教師用アプリにより事前に正解が設定されている場合にのみ表示されます。
39		集計結果表示	アンケートの集計結果（回答数）を示します。

⑤ クイズ・アンケートモード　結果一覧表示（選択できる状態）

⑥ クイズ・アンケートモード　結果一覧表示（描画できる状態）

番号	アイコン・表示	ボタン名称	機　能
40		並び替え ボタン	各生徒の画面を、回答順（色順）に並び替えて表示します。
41		生徒画面 （分割表示）	各生徒の画面を一覧表示し、色で回答結果を示します。

⑦　クイズ・アンケートモード　結果一覧表示（「複数選択」を可能にした場合）

番号	アイコン・表示	ボタン名称	機　能
42		生徒画面 （分割表示）	アンケートで「複数選択可能」の設定がされている場合、各生徒が選択した番号をアイコンで各生徒画面に表示します。

操作手順

授業の流れの概要

1　同一ネットワークへ接続し、すべてのアプリを立ち上げます

① 電子黒板用ＰＣ、教師用端末、及び、全ての生徒用端末を同一ネットワークに接続します。

② すべてのアプリ（電子黒板、教師、生徒）を立ち上げます。全ての生徒用端末が同一ネットワークに接続していると、自動的にアプリが相互に接続し授業が出来る状態になります。

2　クラス編成を行います

授業へ参加するには、以下の 2 通りの方法があります。

●クラス編成を事前に行うことで、アクセスできる生徒端末を設定することができます。

●電子黒板用アプリに表示された ID を各生徒端末に入力することで授業に参加できます。

※同じネットワークに接続していても、ID が違う場合は同一クラスと見なしません。
　また、同じネットワークで複数のクラス編成を行うこともできます。

3　授業を行います

<e トーキー®>の様々な機能を使って、先生から生徒へ、また、生徒から先生へ、相互に情報を共有しながら授業を行います。

- **電子黒板とタブレットのリアルタイム連携**
- **分割画面表示（最大 49 分割表示）**
- **配布モード・提出モードで双方向の授業**
- **カードモードで「思考ツール」として活用**
- **スクリーンショット機能**
- **種々の素材を読み込めます**
- **クイズ・アンケート機能**

※ 写真などの画像データを多数使用すると、システムが不安定となる原因となる場合があります。
　一授業あたりの画像使用数は、200 枚程度を上限としてご利用ください。

4　授業の終了

授業が終わったら、各端末のアプリを終了します。

機器の立ち上げ

！ ネットワーク機器、ＰＣ・タブレットなどの端末は次の順番で起動してください。

1 ネットワーク機器の起動

最初に必ず、全てのネットワーク機器を起動してネットワークが確立していることを確認します。

→ 無線ＬＡＮアクセスポイントを起動してください。その他のネットワーク機器（ＨＵＢ等）をお使いの場合、それらも含めて全てのネットワーク機器を起動してください。
無線ＬＡＮアクセスポイントと電子黒板用ＰＣを有線ＬＡＮケーブルで接続します。（無線ＬＡＮアクセスポイントと電子黒板用ＰＣの接続は、無線（Ｗｉ Ｆｉ）での接続も可能ですが、レスポンスが遅くなる場合があります。）

2 各端末の起動

ネットワーク機器が稼動してネットワークが確立されているのを確認してから、電子黒板用ＰＣ、教師用タブレット端末、生徒用タブレット端末を起動します。

3 ネットワークへの接続

①電子黒板用ＰＣと無線ＬＡＮアクセスポイントが、有線ＬＡＮケーブルでしっかりと接続されていることを確認してください。（有線ＬＡＮケーブルの接続は、１の段階で行います。）
※電子黒板用ＰＣと無線ＬＡＮアクセスポイントを無線（Ｗｉ Ｆｉ）接続する場合は、ここで接続してください。（無線接続の場合は、有線接続の場合に比べてレスポンスが遅くなる場合があります。）

②教師用タブレット、及び、生徒用タブレットを、無線ＬＡＮアクセスポイントと無線（Ｗｉ Ｆｉ）接続してください。

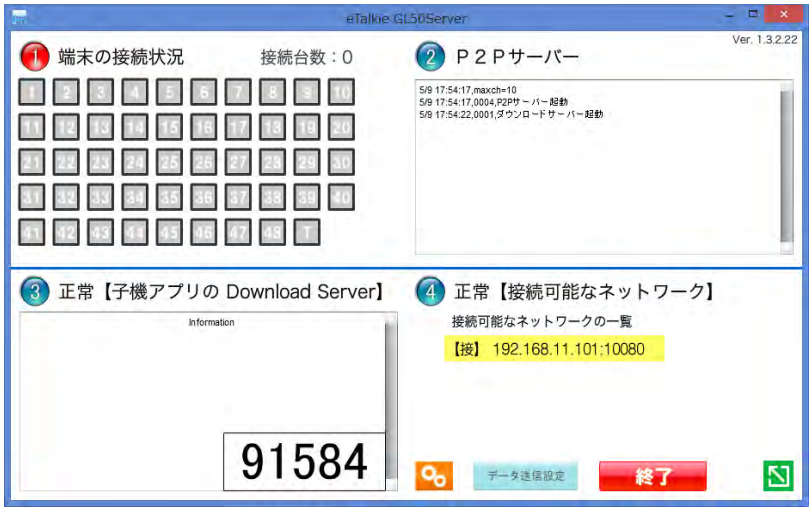
③全ての端末が、同じネットワーク（無線ＬＡＮアクセスポイント）に接続されていることを確認してください。

※ネットワークへの接続については、「インストールガイド」の「ネットワークの設定」もご参照ください。

アプリの立ち上げ

1 「ｅトーキー GL50 サーバー 」の起動

電子黒板用PCにインストールされている「ｅトーキーGL50サーバー」アプリを立ち上げてください。



① サーバーアイコンをクリックします。

すると、サーバーウィンドウが一瞬表示された後、タスクバーに格納されます。

※サーバーが立ち上がっていないと授業が開始できません。

2 データ送信条件の設定

サーバーウィンドウの右下の「データ送信設定ボタン」を押下げます。下図のウィンドウが表示されますので、各設定値を、お使いの環境に合わせて最適化してください。一度設定すると、その設定値次回以降保持されます。　（※通常は、初期設定のままで、問題なくお使いいただくことができます。）

■Ch 台数（チャンネル台数）
ｅトーキーでは、接続した生徒端末をいくつかのグループに分けて、画像などのデータ送信を行います。
そのグループを「チャンネル」と呼びます。そのチャンネルごとの生徒端末数を指定します。

※デフォルト値＝10 台
（1～48 の間の数字を設定してください）

※Ch 台数を変更すると自動的に授業が終了になりますのでご注意願います。

■分割サイズ
ｅトーキーでは、画像などの大きいデータを分割して送信しています。その分割サイズを指定します。
※デフォルト値＝51200 バイト
（1MB のデータの場合、約 20 個に分けて送ります。）

■Data 遅延（データ遅延）
分割データ送信時の、あるデータ送信から次のデータ送信までの時間差です。

デフォルト値＝200 ミリ秒

■送信タイプ
下記のいずれかを選択します。

「順次送信」
ひとつのチャンネルへのデータ送信が完了してから次のチャンネルに送信する方法。

「固定時間差」
チャンネルごとのデータ送信を一定時間ごとに行う方法。

※デフォルト値＝順次送信

■Ch 遅延（チャンネル遅延）

順次送信のとき
あるチャンネルへの送信完了後、次のチャンネルに送信開始するまでの時間。

固定時間差のとき
あるチャンネルにで一送信開始後、次のチャンネルへの送信開始までの時間。

※デフォルト値＝2000 ミリ秒

[データ送信の代表パターン設定ボタン] について

前記の Ch 台数、分割サイズ、送信タイプ、Ch 遅延、Data 遅延の各パラメータの、代表的な設定パターンを割り当てたボタンです。通常は、これらのボタンから、お使いの環境に適した番号ボタンを選択するだけで、自動的に上記各パラメータに数値が設定され、快適にお使いいただくことができます。

各ボタンには、次の表のようなデータが割り当てられており、各ボタンを押すと、表の設定が反映されます。この中では、ボタン１が最も高速（電子黒板と生徒端末の間の画像送信などのデータのやり取りが速い。高速で通信できるアクセスポイントなどの無線環境があるときに好適。）であり、ボタン５の設定が最も低速（無線ＬＡＮアクセスポイントの通信性能が低い、あるいは、無線電波の状態が悪い等の状況の際に、安定した通信が可能）の設定となっています。初期は、ボタン４の設定になっており、幅広い環境で比較的快適にお使いいただけるような設定になっています。

なお、**ボタン５を設定すると、Ch 台数設定が変わるために、授業が自動的に終了になってしまいます**ので、授業途中での設定変更にはご注意願います。

表　データ送信パターン設定ボタンの設定値

ボタン	通信速度	ｃｈ 台数 （台）	分割 サイズ （バイト）	送信 タイプ	ｃｈ 遅延 （ミリ秒）	Ｄａｔａ 遅延 （ミリ秒）
1	高速	１０	５１２００	固定時間差送信	１０００	２００
2	↑	１０	５１２００	固定時間差送信	２０００	２００
3	↑	１０	５１２００	順次送信	１０００	２００
4（デフォルト）	↑	１０	５１２００	順次送信	２０００	２００
5	低速	５	５１２００	順次送信	２０００	２００

実際にお使いの環境で最適な設定を行うには、下記のように行ってください。

「**４（デフォルト設定）**」で、状態を確認します。

① 一部の生徒端末に画像が配布されないとき

→ **設定を「５」にしてください。**

※ 授業中には変更しないでください。授業中に変更すると、自動的に授業が終了してしまいますのでご注意願います。

② すべての生徒端末に安定して画像が配布されるとき

→画像が安定に配布される範囲で、設定を「3」→「２」→「１」と順番に上げて下さい。

2 「e トーキー GL50」の起動

デスクトップのアイコン

をダブルクリックします。下のような図が表示されます。

① 「授業をする」を押します。

② 左図の画面が表示されますので各項目の「はい」「いいえ」を選択してください。

「クラス情報」
※教師用アプリでクラス登録をしている場合に「はい」選択します。

「ID 番号」
※授業ごとの ID を設定する場合に「はい」を選択します。

「教材」
※以前の授業を保存して終了した場合はその続きから授業を行うことができます。(→「授業を終了する」を参照)
また、教師用アプリから送信した授業データを使うことができます。

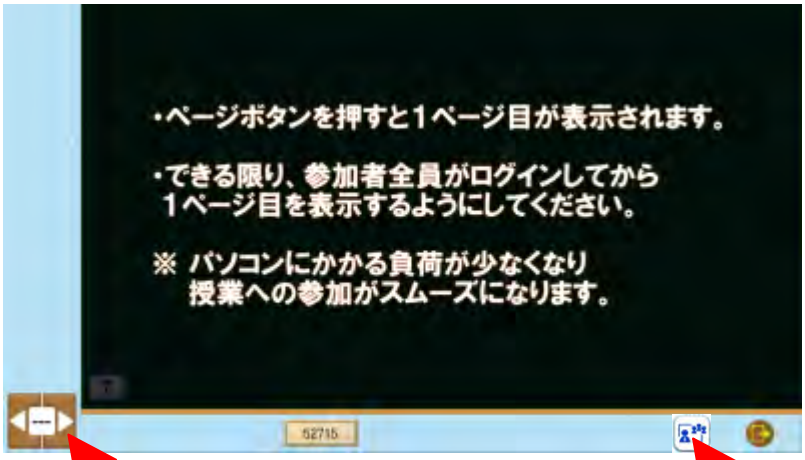
③ START ボタンを押すと授業が開始されます。

授業の開始（ID 番号を使った授業）

① 教材を選択し、次いで、
クラス情報＝いいえ
ＩＤ番号～＝はい　とし、
ＳＴＡＲＴを押します。

※サーバーが立ち上がっていないときには、「サーバが起動してください」のメッセージが表示されます。

② 電子黒板画面に左図のように、５桁のＩＤ番号が表示されます。
表示されたＩＤを授業に参加する生徒に伝えます。
生徒は自分の端末からこのID を入力することで、授業に参加できます。
とじるボタンを押すと数字の画面が消えます。



③ 授業が開始されました。

※参加する生徒の数により、分割画面表示されます。各生徒の画面はシャッターが下りた状態で表示されます。

※「ID 番号設定」で「はい」を選択した場合には③の操作の後、授業が開始されます。

※「ID 番号設定」で「いいえ」を選択した場合には、②の操作の後すぐに授業が開始されます。

※電子黒板アプリ、教師用アプリのいずれかのページボタンを押し授業を開始します。

ページをめくると、生徒画面を分割一覧表示します。

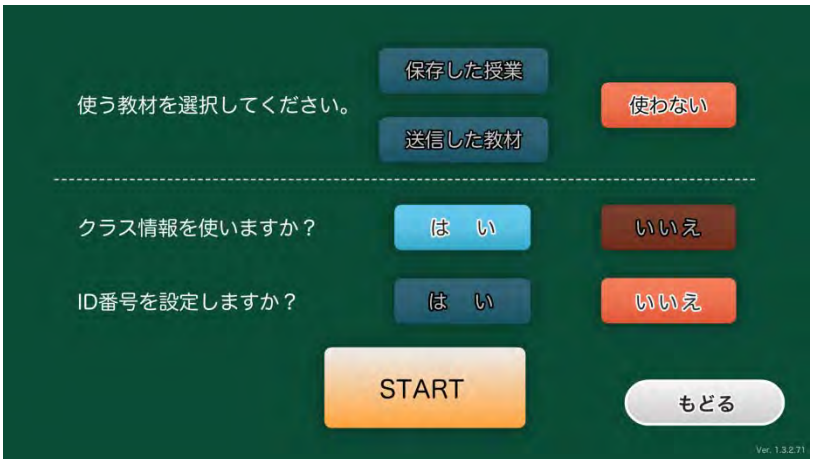
このボタンを押すと、サーバーウィンドウが最前面に表示されます。

④ 授業に参加している生徒の画面が分割画面で一覧表示されます。

※授業（教材）データを送信している場合は、その教材の１ページ目が表示されます。

授業の開始（クラス情報を使った授業）

クラス情報で授業を行う場合には、予め、教師用アプリのクラス編成機能を使ってクラス情報をサーバーに登録しておく必要があります。詳しくは、教師用アプリの取扱説明書をご覧ください。
ここでは、クラス情報がすでにサーバーに登録されているものとして説明します。



① 教材を選択し、次いで、
クラス情報＝はい
ＩＤ番号～＝いいえ　とし、
ＳＴＡＲＴを押します

※ＩＤ番号～＝はいとして、クラス情報とＩＤ番号の併用で授業開始することもできます。

② ＳＴＡＲＴを押すと、授業が開始されます。

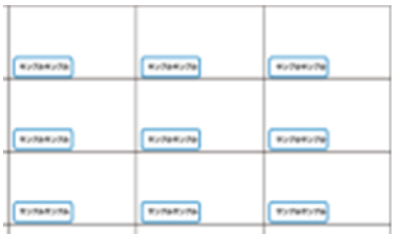
【クラス情報利用上の注意点】

i) 出席番号は、１～４８の番号が仕様可能です。
ii) 古いバージョンの教師アプリで作成されたクラス情報は、使うことはできますが、次のように変換されますのでご注意願います。
・４９以上の出席番号が使われている場合、１～４８の数字に変換されます（昇順で変換）。
・出席番号がダブっている場合、ダブっている番号のいずれかが、１～４８の中の空席番号の最小値の番号に変更されます。
iii) 生徒端末（タブレット）の機材が変われば、登録されている個人情報が同じでもその授業には参加できません。

【生徒用アプリが接続している場合／接続していない場合の表示について】

1）生徒用アプリが正常に接続している場合

→ 分割画面が、白（白紙ページ）、または、 画像が表示された状態で表示されます。



2）生徒用アプリとの通信が一時的に切れた可能性がある場合

→ハードウエア、ネットワーク、または、アプリの状態により、生徒用アプリとの通信が一時的に出来なくなった場合などに、電子黒板用アプリの分割表示画面において、その生徒端末の画面上に「**！**」マークを表示します。

→ **■そのまま放置しておくと、通信が回復した場合には自動的に「！」マークが消え、正常な通信状態に戻ります。ページめくりや手書き描画を正常に行えればそのままお使いください。**

■しばらく経っても「！」が消えない場合には、サーバー画面を確認し、「！」が表示された生徒の出席番号の部分が、青色か、黄色く表示されているかを確認してください。黄色く表示されている場合には、その生徒端末を一度退室し、再入室してください。

3）生徒用アプリが授業から退室した場合

→その生徒端末の画面がグレーアウトされます。

再入室（授業に参加）すると、元の状態に戻ります。

配布モード

配布モードは、事前に準備した資料や写真などを生徒端末に一斉配布し、個々の端末で異なる手書きなどが行えるモードです。従来の授業でプリントを配布して行うようなイメージの使い方になります。

教師側からの操作で、特定の画面を共有したり、一つの画面に全員で書込みを行ったりすることができます。

配布モードを示すボタン
（ホワイトボード下部に表示）

1 「ホワイトボード」を立ち上げます

次のような画面が表示されます。

※下の例は 49 分割画面ですが、授業に参加している生徒数に応じて最適な分割数が表示されます。
分割数は、49 分割、36 分割、25 分割、16 分割、9 分割、4 分割、2 分割、分割なし（1 分割）です。

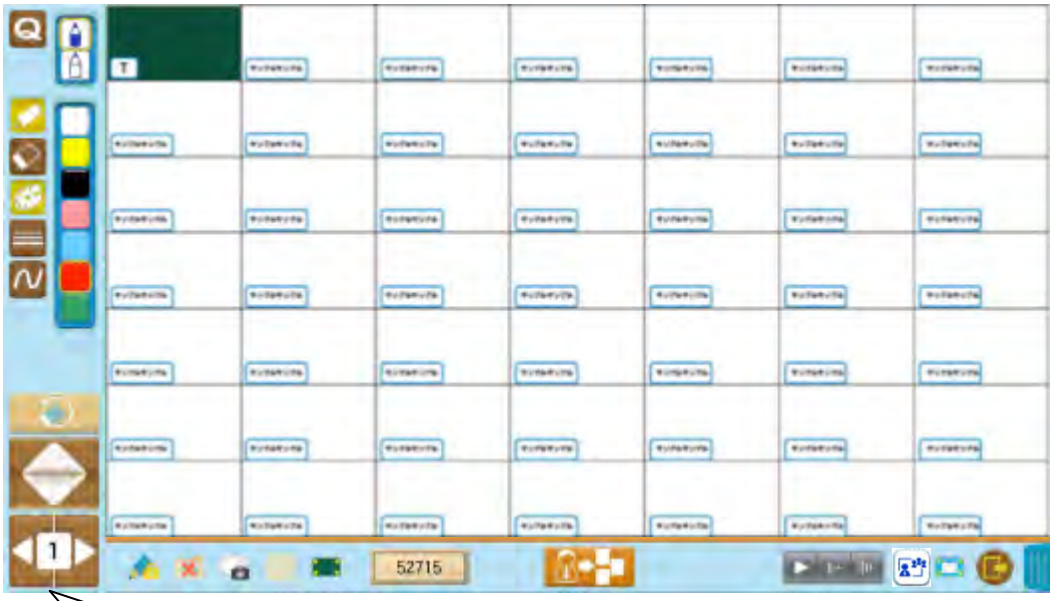
これらの分割画面は、電子黒板 PC の画面（左上の深緑色の画面）、及び、各生徒端末の画面（その他の白色の画面）を表示しています。

2　ページめくり

ページめくりボタンを押すと、ページが前後にめくられます。
ページをめくるたびに、そのページが全生徒端末と共有され、生徒端末側でもページがめくられます。
生徒端末側では、そのページが表示され、各生徒ごとに自分が書いた描画が表示されています。

【ページめくりの際の注意点】

※連続してページめくりボタンを押すと、タイミングによってボタンが押せない場合があります。
※ページめくりをして全生徒の端末に画像が表示されるまでに、数秒～数 10 秒かかります。
・その授業で初めて開くページは読込に時間がかかります。
一度、生徒端末側で開いたページは、2 回目から、ページめくりしてすぐに開きます。
・全生徒端末に画像などのデータが配信完了するまで、そのページの背景画像削除ができません。
（ボタンがグレーアウトしています）



3　分割画面で表示された画面の拡大表示

分割画面で表示された各画面を拡大表示するには次のような操作を行います。

① 拡大表示したい画面の左下の名札表示ボタンをクリックします。（矢印部分）

※左図は電子黒板の画面（左上の深緑色の画面）を拡大する場合の例ですが、各生徒の画面（白色）を拡大する場合にも同様の操作を行います。

② 左図のようなダイアログ画面が表示されます。

「共有する」

電子黒板および全生徒の端末に表示します。拡大表示した端末と電子黒板（教師）からの書込みはできますがそれ以外の生徒端末からの書込みはできません。提出モード中は操作できません。

「共有する（書き込み）」

「共有する」の状態で、全生徒からの書込みができます。提出モード中は操作できません。

「共有しない」

電子黒板のみに拡大表示し、他の生徒の端末には表示されません。
選択された画面からは書込可能です。

「キャンセル」

本操作をキャンセルし、前の画面に戻ります。

③ 選択した画面が拡大表示されます。

※この場合、左（右）のツールバーは描画用のツールバーに代わって表示されます。（描画できる状態）

※拡大画面左下の名前表示部分をクリックすると、元の分割表示画面に戻ります。（矢印部分）

4　分割表示数の変更（１）分割表示数変更ボタン

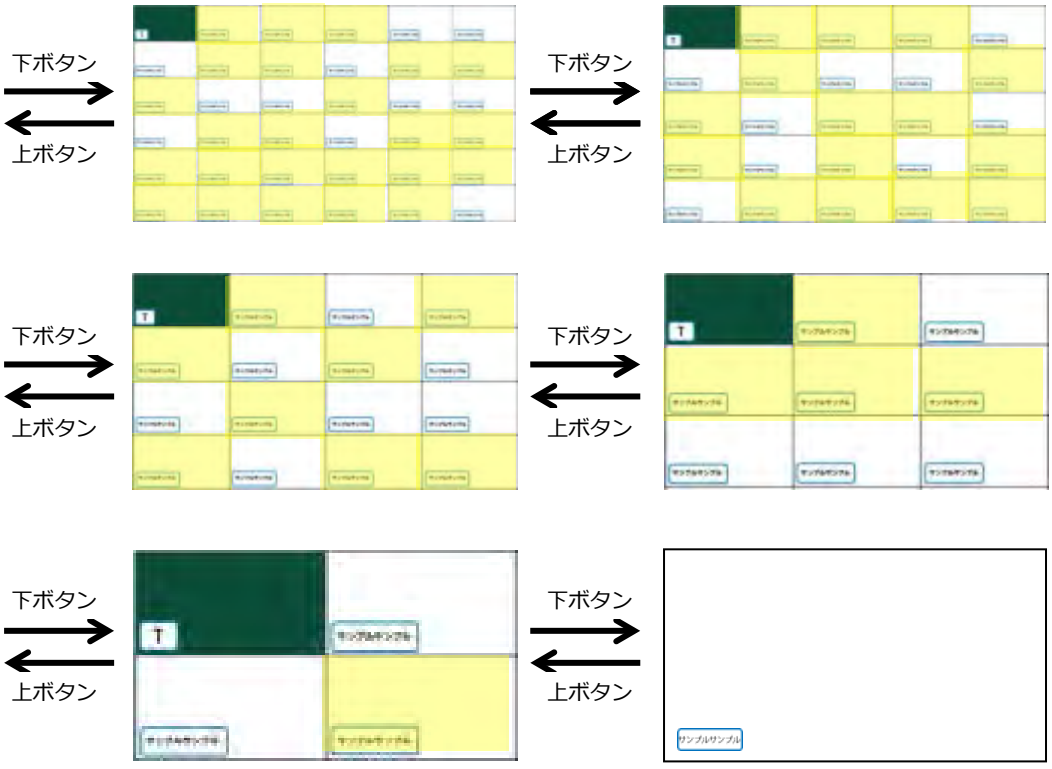
分割画面の分割数を変更するには次のような操作を行います。

【分割表示数変更ボタン】

上のボタンを押すと分割数が
多くなります。(縮小)

下のボタンを押すと分割数が
少なくなります。(拡大)

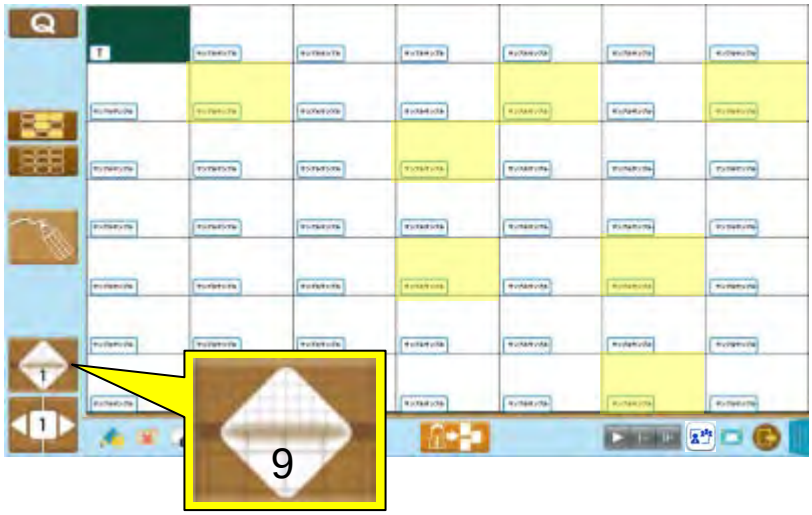
※先生が選択した画面（赤色で網掛表示）が拡大分割表示されます。
※画面を選択していない場合、ボタンに数字が表示されず、画面も切替わりません。



また、画面の選択数に応じて、「分割表示数変更ボタン」に表示される数字が変わり、最適な分割表示画面数で表示されます。

※ 4 画面を選択した場合、4 分割表示となります。

※ 分割表示ボタンの下部の数字は、下ボタンを押したときに表示される分割画面数を示します。この例の場合は、4 画面を選択していますので、4 分割表示となります。



※ 7 画面を選択した場合、9 分割表示となります。

※ 3 画面を選択した場合、4 分割表示となります。

※ 分割表示ボタンの上部の数字は、上ボタンを押したときに表示される分割画面数を示します。一つ前の画面で表示していた画面数を表示しています。

5　分割表示数の変更（２）ドラッグ操作

ドラッグ操作は、電子黒板、タッチパネル等をご利用の際にお使い頂くことができます。
選択した画面だけを、選択した数に応じて分割表示することが可能です。

① 表示したい画面を選択します。
※画面クリックで選択されます。
※選択された画面は着色して表示されます。

② ボタン操作、または、「ドラッグ操作」により画面を入替えます。

【ボタン操作】

下のボタンを押して分割表示を変更します。

【ドラッグ操作】

画面に電子ペンでタッチして、矢印のようにペンをスライドさせます。
下向きにドラッグすると拡大表示
上向きにドラッグすると縮小表示となります。

③ 選択した画面だけが、選択した数に応じた分割数で表示漁れます。

※画面の分割数をもとに戻すときは、上ボタン操作で行います。

【ドラッグ操作のバリエーション】

①下にドラッグ(9 分割～49 分割画面の場合)

選択した画面数に応じて、最適な分割画面数で表示されます。

画面の高さの 1/7 以上の距離をドラッグすると、ドラッグ操作が確定されます。

※ 画面の選択は解除されています。

②上にドラッグ(9 分割～49 分割画面の場合)

一つ前の画面（分割数が多い画面）に戻ります。（画面を選択しなおしても同じです）

画面の高さの 1/7 以上の距離をドラッグすると、ドラッグ操作が確定されます。

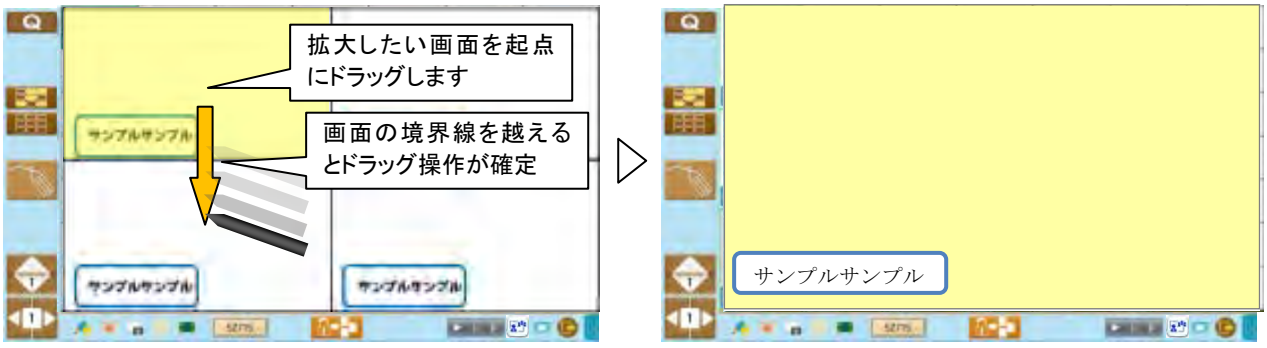
※ 画面の選択は解除されています。

※上の図は、一つ前の画面が 49 分割画面の場合です。

③ ４画面表示のとき

全画面（１画面）表示したい画面を起点にしてドラッグ操作（下へ）を行います。

別画面に入った状態でペンを画面から離すとドラッグ操作が確定され、全画面表示となります。



④ ４画面表示のとき（下側画面を拡大したい場合）

全画面（１画面）表示したい画面を起点にしてドラッグ操作（下へ）を行います。
別画面（ツールバー領域）に入った状態でペンを画面から離すとドラッグ操作が確定され、全画面表示となります。

⑤ ４画面表示のとき（分割数アップのとき）

いずれかの画面を起点にしてドラッグ操作（上へ）します。
別画面に入った状態でペンを画面から離すとドラッグ操作が確定され、一つ前の画面（分割数が多い画面）に戻ります。（画面を選択しなおしても同じです）

※ 上の図は、一つ前の画面が９分割画面の場合です。

⑥ 全画面（1 画面）表示のとき

ツールバーを起点にしてドラッグ操作（上へ）します。
別画面に入った状態でペンを画面から離すとドラッグ操作が確定され、一つ前の画面（分割数が

※ 上の図は、一つ前の画面が９分割画面の場合です。

6　選択できる状態、描画できる状態 の切り替え

分割画面上で手書き描画を行う場合は、「描画できる状態」に切り替えます。
※９分割～４９分割表示の場合に以下の方法で切り替え可能です。

【選択できる状態】

画面を選択し拡大表示や
分割数変更ができます。

【描画できる状態】

画面上にペンツールなどの
機能を使って板書できます。

※2 分割、４分割表示のときは、各画面に描画できます。

※9 分割以上の表示のときは、画面をまたがって描画することができます。

→次ページをご参照ください。

分割画面への書込み

分割画面表示している場合、分割画面上に書き込んだ場合について説明します。

1　2 分割表示、4 分割表示の場合

①「描画ボタン」を押します。
次の図のように、描画できる状態となります。

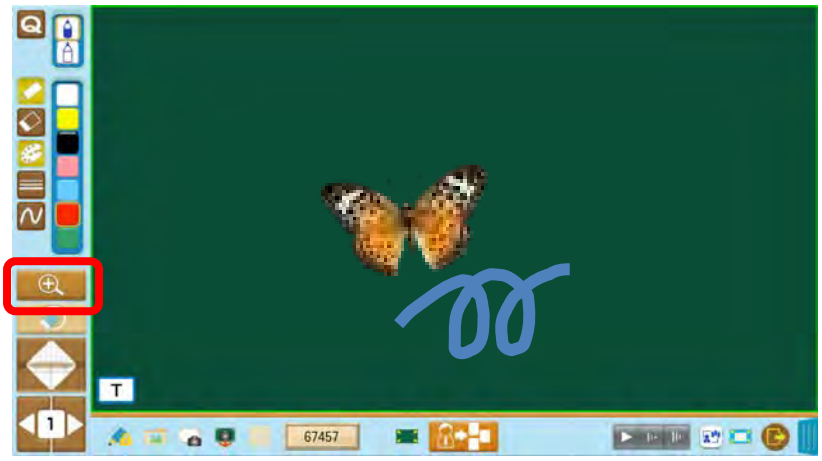
②　２分割表示以上の分割画面では、画面をまたがって描画することができます。

※生徒端末画面に描画は反映されません。

※ページをめくると描画内容は消えます。

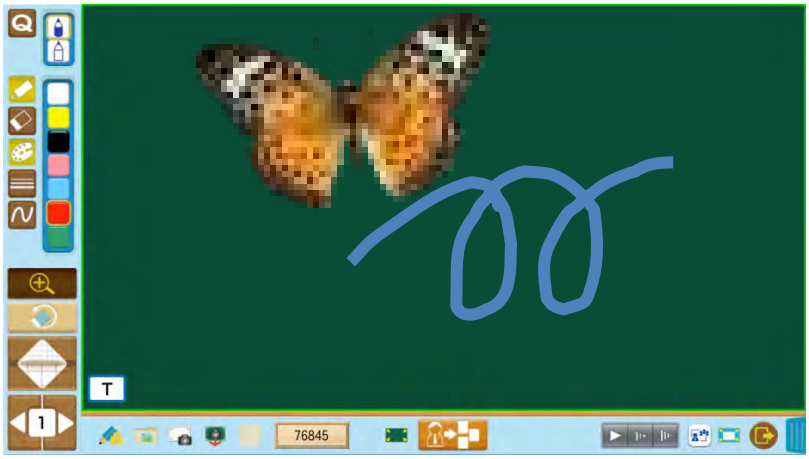
拡大表示

全画面（1 画面）表示のとき、画面を拡大して表示することができます。

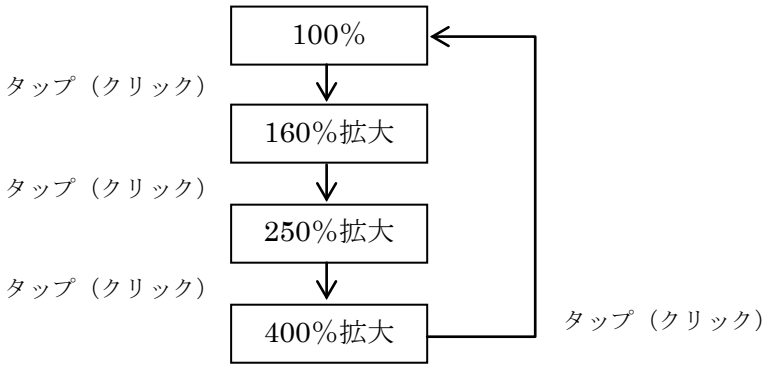


① 全画面（１画面）表示の状態で拡大ボタンを押します。

拡大ボタンを押すと、拡大操作モードになります。



② 画面の拡大したい部分をタップ（クリック）します。
すると、タップした点を画面の中心にして拡大画面が表示されます。
また、拡大モードでは画面タッチしたままスワイプすると画像を上下左右に動かすことができます。



拡大操作は、３段階の拡大操作を行うことができます。４回目のタップ（クリック）で元の大きさに戻ります。

電子黒板画面上での拡大表示は、生徒アプリ側には反映されません。

提出モード

提出モードは、各生徒の端末から、電子黒板に資料や板書の情報を提出できるモードです。
たとえば、生徒用端末で撮影した写真を、電子黒板に送信し授業に活用することができます。

提出モードを示すボタン
（ホワイトボード下部に表示）

※提出モードでは、アンケート機能、スタンプ機能は使用できません。
※モードを切替えた際、約 3 秒間、このボタンが押せなくなります。
※提出モード、または、カードモードのページの前後に、提出モードを設定することはできません。

1　「提出モード」への切り替え

① ホワイトボードを立ち上げます。

※「選択できる状態」で画面が立ち上がります。

「モード切替ボタン」を押して、提出モードを選択します。

② 「提出モード」に切り替わりました。

※画面下部のボタンが「提出モード」に代わっています。

※クイズ・アンケートボタンは表示が消えます。

【提出モード中にロックボタンを押した際の動作について】

ロックボタンを押します。

すると、9 分割以下の表示状態では、生徒画面の右下に赤色のカメラのアイコンが表示されます。

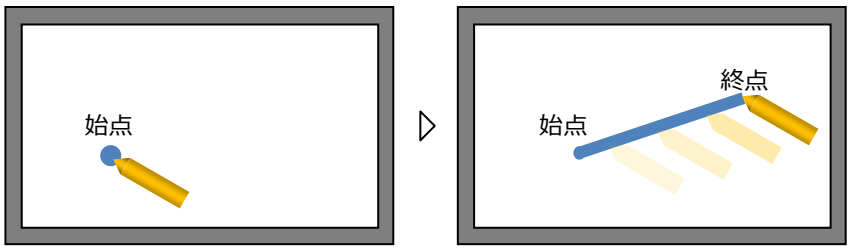
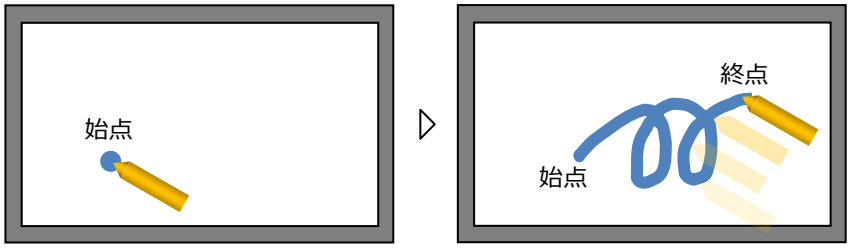
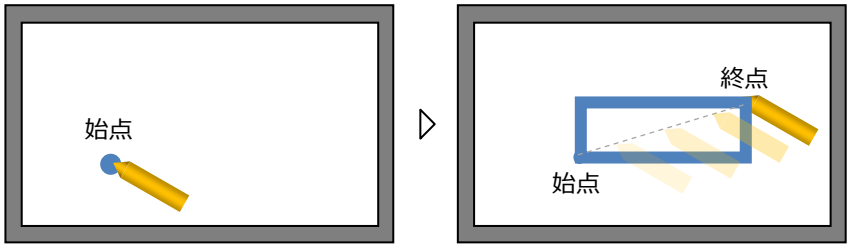
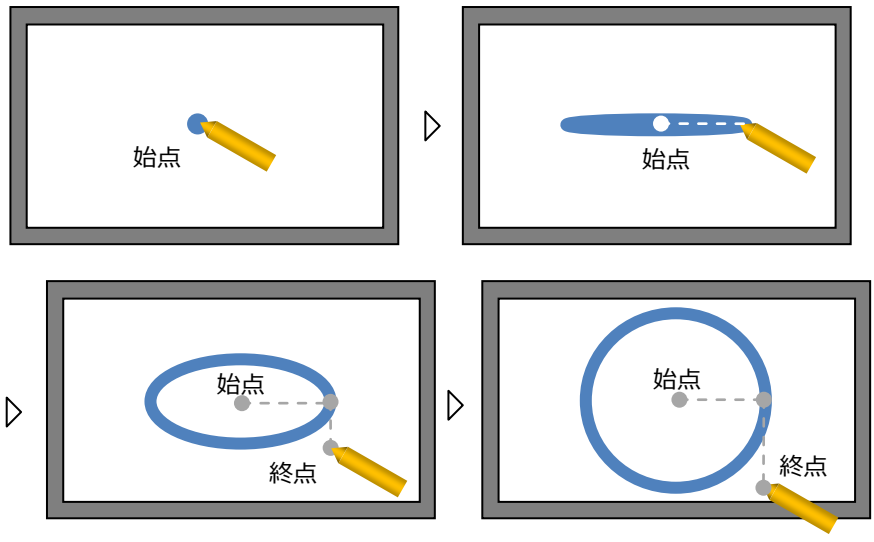
このアイコンを押すと、電子黒板上で生徒が撮影した画像を切替表示することができます。

ロックしていない状態

ロックされた状態（生徒端末からは何も操作することができません）

描画ツールの使い方

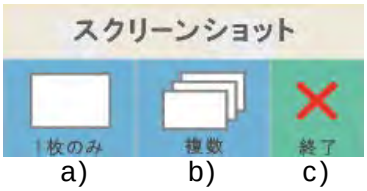
描画ツールの中の、「線の種類」の使い方について説明します。

<table>
<tr><td rowspan="5">線の種類
 </td><td>直線
 </td><td>始点から終点まで、ペンを移動すると直線が描けます。
 
</td></tr>
<tr><td>自由曲線
 </td><td>ペンで描いた通りに描画します。
 
</td></tr>
<tr><td>四角形
枠のみ
塗りつぶし</td><td>始点と終点が対角線となるように描画されます。
 
</td></tr>
<tr><td>円
枠のみ
塗りつぶし</td><td>円の中心となる点を始点とし、半径分だけ横方向にペンを移動し、次に縦方向に移動して楕円の高さを調整します。
 
</td></tr>
</table>

スクリーンショット機能

① 画面左下の「スクリーンショット」ボタンを押します。

② すると、e トーキーの画面が閉じ、画面左上に次のようなボタンが現れます。



a) b) c)

a) スクリーンショットを 1 枚撮影され、この画面に登録します。

b) スクリーンショットが、押すたびに撮影され、最終ページ以降の白紙ページに順番に読込まれます。

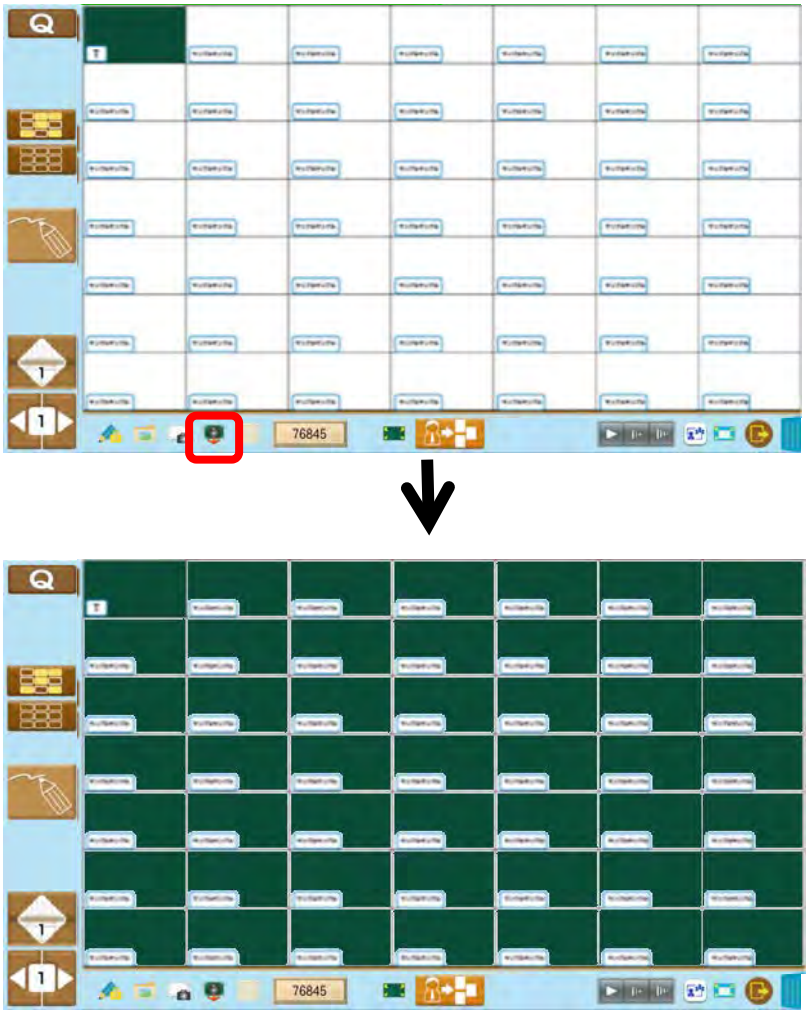
c) キャンセルされ元の画面に戻ります。

③ スクリーンショットボタン(a)または(b)を押すと、GL50 に取り込まれます。

④　「提出モード」の時
左図のように、左上の先生画面のみ画像が表示され、その他の画面は各生徒の画面を表示します。

自画撮りスクリーンショット機能

先生の画面（Ｔ画面）をスクリーンショット撮影して、全生徒に配布することができます。



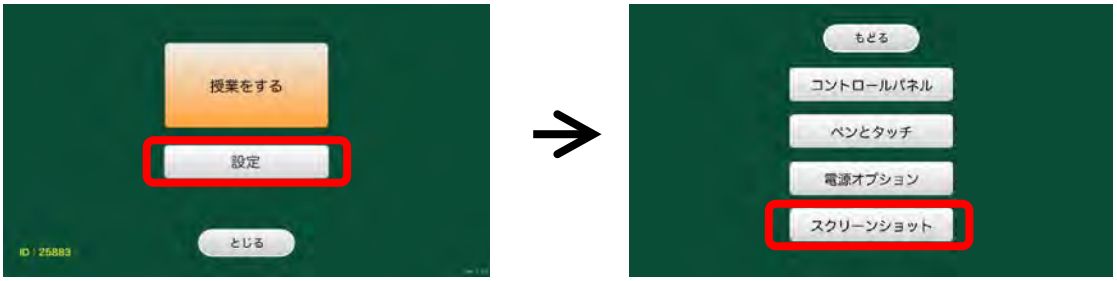
① 自画撮りスクリーンショットボタン を押します。

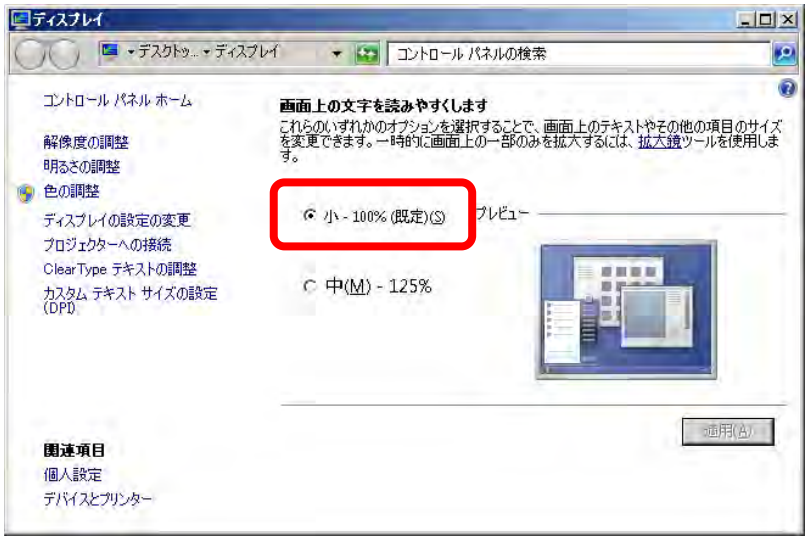
② 先生の画面（Ｔ画面）が画像として全生徒端末に配布されます。

つまり、先生の画面に問題等を書き込んで、それを全生徒端末に配信し、生徒に回答させることができます。

※ スクリーンショット、自画撮りスクリーンショットを取り込んだ際に、スクリーンショット画像のサイズが合っていない場合の設定方法

① アプリ起動直後の画面の「設定」ボタンを押し、「スクリーンショット」を押します。





【Windows 7 の場合】

・「100%」を選び、「適用」を押します。

【Windows 8, 8.1 の場合】

・「100%」を選びます。
・「すべてのディスプレイで同じ拡大率を使用する。」にチェックを入れます。
・最後に「適用」を押します。

スタンプ機能（配布モードのみ）

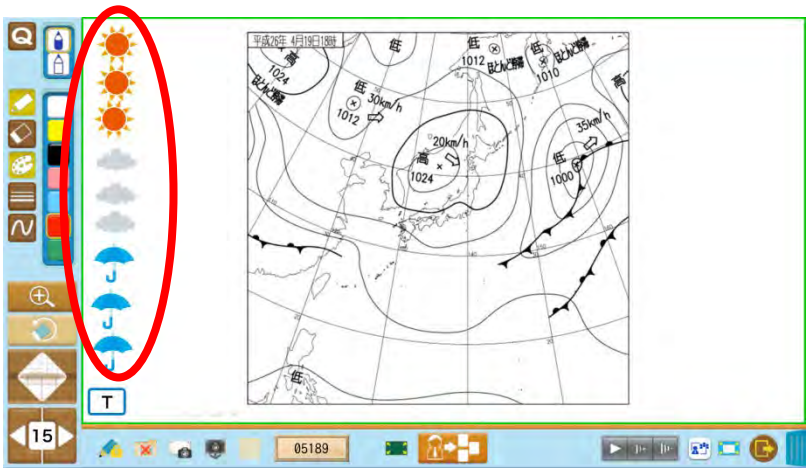
教師用端末から、予め登録されたスタンプ（画像データ）をホワイトボード上で自由に配置することができる機能です。（※教師用アプリで事前に設定している場合に使えます。）

1　スタンプの登録（→教師用アプリを用いて行います）

画像データを準備し、教師用アプリより電子黒板用アプリにデータをアップロードします。
（→「教師用アプリ取扱説明書」の、「操作手順」＞「準備」の項目を参照）
※使用できるスタンプ画像は、gif 形式（50kb 以下の容量、200pxX200px 以下のサイズ）です。
※1 ページに貼り付けられるスタンプの枚数は、最大で 20 枚です。

2　スタンプの操作

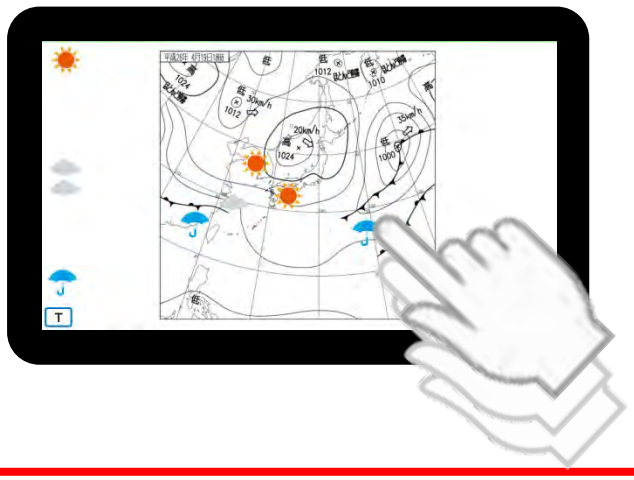
配布モードにおいて、スタンプが事前登録されているページでは、各生徒端末からスタンプを動かすことが可能です。（スタンプの事前登録の方法は、「教師用アプリ取扱説明書」の「操作手順」＞「準備」の項目を参照ください。）



① 左の図の赤丸○部分の画像がスタンプです。
画面上でスタンプをドラッグして移動することができます。

② 生徒用アプリ上では表示されているページにおいてスタンプ機能が有効かどうかがわかりません。教師側より「スタンプを動かして」とお知らせください。

【生徒用端末】



※生徒側では左図のようにスタンプを動かすことができます。

※生徒画面のスタンプを先生が電子黒板上で動かすことはできません。

クイズ・アンケート機能（配布モードのみ）

２択～５択のクイズ・アンケートを行うことができる機能です。

1　クイズ・アンケートの登録（→教師用アプリを用いて行います）

教師用アプリのクイズ・アンケート作成機能を用いて予めクイズ・アンケートを作成しておきます。この時、クイズ・アンケートの選択肢数、正解がある場合はその登録などを行います。また、クイズ・アンケート画面で用いる背景画像も予め準備しておきます。

（→教師用アプリ 取扱説明書「クイズ・アンケート」の項目を参照）

2　クイズ・アンケートの実施

① 「配布モード」において、クイズ・アンケートボタン をクリックすると、クイズ・アンケートが開始されます。

この時、各生徒端末には２択～５択の選択肢が番号で表示され、生徒端末から回答できるようになっています。

② クイズ・アンケートモードでは、クイズ・アンケートアイコンは次のように表示されます。

※これを押すとクイズ・アンケートモードは終了されます。

各生徒が回答し終わったら「グラフ表示ボタン」を押してクイズ・アンケートを集計します。

③　クイズ、及び、アンケート（単一回答形式）の場合には、設問ごとの得票数（数字）と、円グラフ（設問ごとの得票割合%）で結果が表示されます。右下の[6/8]は、8 人の授業のうち、6 人から回答があったことを示します。「分割表示ボタン」を押すと生徒ごとの回答状況が色別に表示されます。

④　そして、クイズの場合、「答え合わせ」ボタンにより、正解／不正解を表示します。

※「並び替え」ボタン
を押すと、画面表示を選択肢ごと（色別）に並び替えて表示します。

⑤　「答え合わせ」ボタンを押すたびに、○×の表示／非表示が切り替わります。

⑥ アンケートが複数回答可能な設定の場合の例を示します。

生徒の回答後、「グラフ表示ボタン」を押します。

⑦ 左図のような棒グラフで結果が表示されます。
各棒グラフ右端の数字は、各設問の投票数を示します。
（左図の場合、全部で８人からの回答があったことを示します。）

⑧「分割表示ボタン」を押すと左のような画面になります。
各生徒画面の左上に、それぞれの生徒の回答状況が表示されています。

画像の読込み（配布モードのみ）

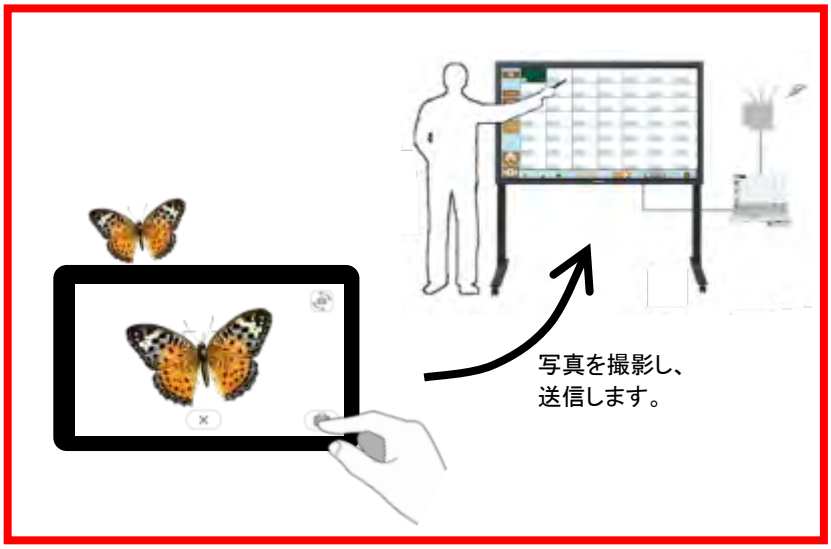
生徒が提出した写真や画像を、電子黒板アプリに登録し、電子黒板上で教師画面に読み込んだり、全員で共有します。

※ 写真などの画像データを多数使用すると、システムが不安定となる原因となる場合があります。一授業あたりの画像使用数は、200 枚程度を目安としてください。それ以上の画像を 1 つの授業内で用いると、アプリの動作や通信状態が不安定になることがあります。

1　生徒用アプリで撮影した写真を電子黒板アプリ上で表示する

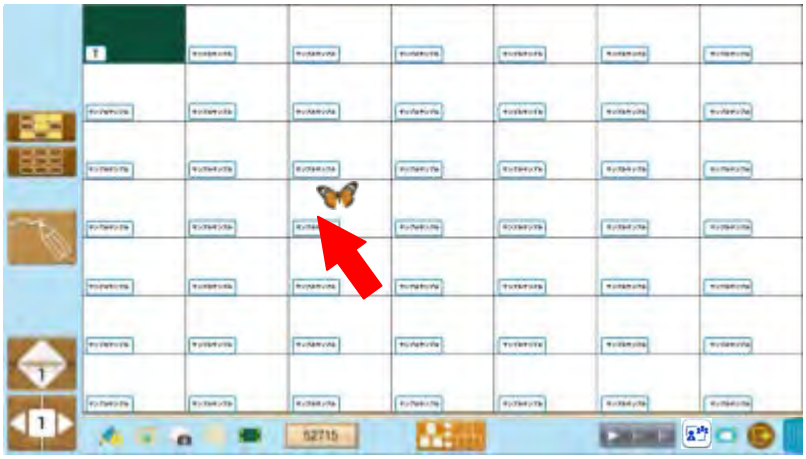
生徒用アプリで撮影した写真や画像を、電子黒板アプリの生徒画面上に表示します。

【生徒用端末での操作】



①　生徒用端末で写真撮影・画像登録を行います。
（本操作は提出モードで行います。）

※詳しくは「生徒用アプリ　取扱説明書　写真を撮影して提出する」をご参照ください。



②　写真撮影・画像登録した生徒の画像が電子黒板の画面に表示されます。

生徒画面の「名札表示ボタン」を押すと、その画面を拡大表示することができます。
（矢印の部分）

③　左図のようなダイアログ画面が表示されます

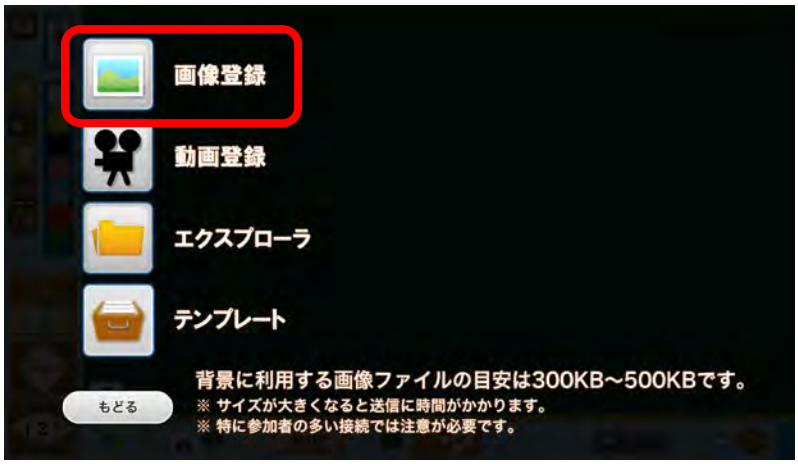
いずれかを選択します。

④　生徒の画面を拡大表示します。
③で選択した内容に応じて、全生徒に同じ画面が表示されます。

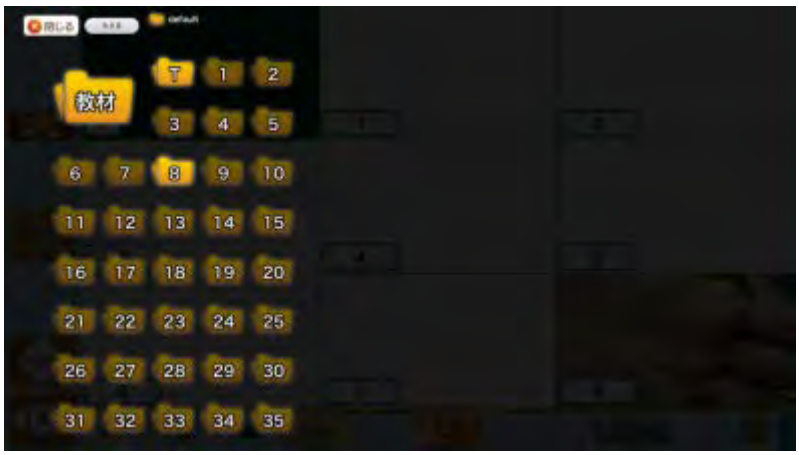
2　電子黒板アプリの教師画面に、生徒が送った画像を登録・表示する

生徒用アプリから送信された写真や画像を電子黒板アプリの教師画面に読込みます。

①　「画像登録ボタン」 を押します。



② 左の画面（画像登録ダイアログ）が表示されます。画像登録のボタンを選択してください。



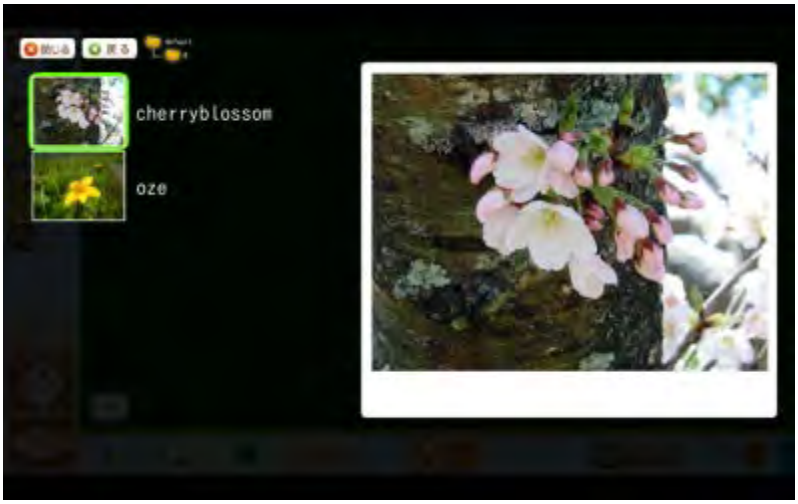
※ データが保存されているフォルダは明るく表示されます。

③ 左の画面が開きます。
これらのフォルダは、電子黒板用ＰＣのデスクトップにある「eTalkieGL50」という名前のフォルダ内のデータを参照しています。

「教材」フォルダ
生徒端末から送信された画像や動画を保管しているフォルダです。

「Ｔ」フォルダ
電子黒板アプリで登録した写真画像や動画が保存されます。

「1～48」フォルダ
各生徒に１つずつフォルダが表示されます。フォルダの番号は、出席番号が表示されます。これらのフォルダには、各生徒アプリから送られた写真画像や動画が保存されます。



④　フォルダを選ぶと左のような画面が表示されます。

サムネイル画像を選ぶと、右側に拡大して表示されます。
選択したサムネイル画像には緑色の枠が表示されます。

選択したサムネイルをもう一度押すと教師画面上に読込まれます。

⑤　ホワイトボード画面に画面が切替わり、選択した画像が教師画面に表示されます。

※画像は画面中央に表示されます。
（縦横比が 16:9 ではない画像は、左右または上下に空白ができます。）

動画の読込み・再生

生徒用端末で撮影した動画を電子黒板用アプリに送信し、電子黒板上で再生できます。また、別途準備した動画を電子黒板上で再生できます。（mp4,mov, 3gp が利用可能です）

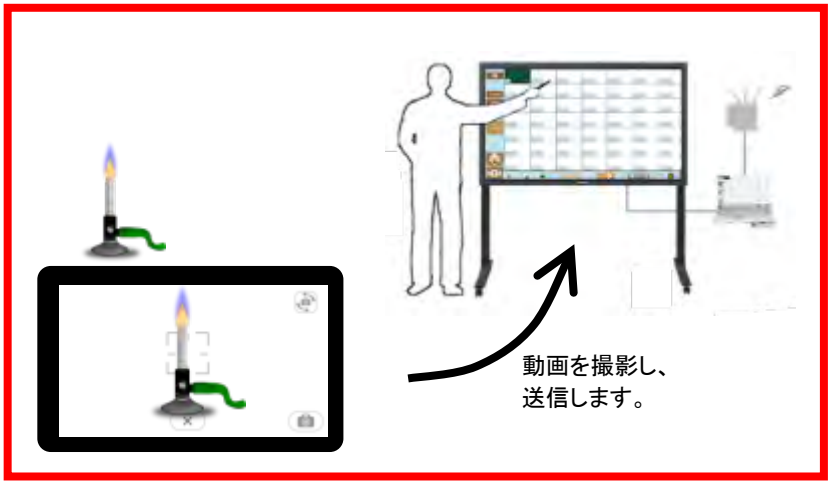
※動画を生徒用端末に配信することはできません。（電子黒板で動画の再生中は、生徒用端末には「電子黒板で動画を再生中です」と表示します。）

※動画読込み時は、クイズ・アンケートを実施することは出来ません。

1　動画の準備―生徒用端末で動画を撮影し、電子黒板に読み込んで再生する

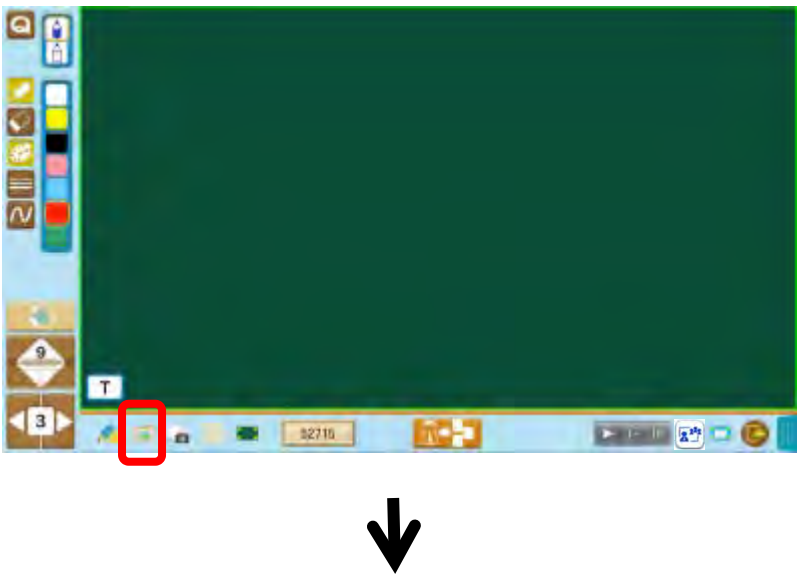
生徒用端末で動画を撮影し、電子黒板アプリに送信します。（→詳しい説明は「生徒用アプリ取扱説明書」を参照ください。）

【生徒用端末での操作】

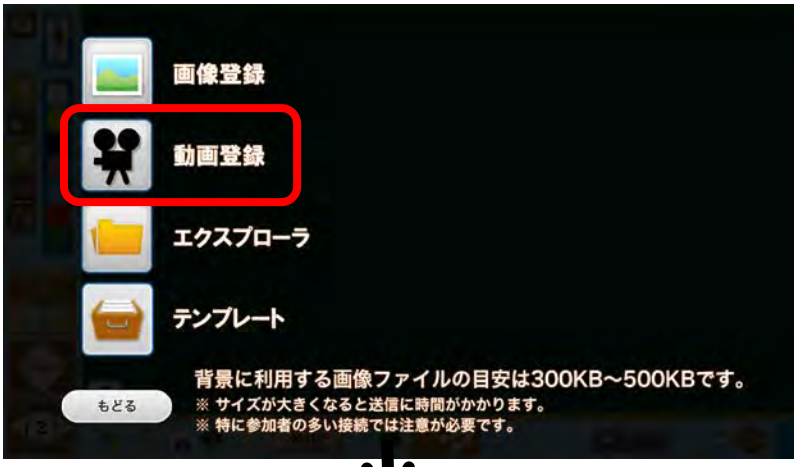


①　生徒用端末で動画撮影を行います。（本操作は提出モードで行います。）

※詳しくは「生徒用アプリ取扱説明書　写真を撮影して提出する」をご参照ください。

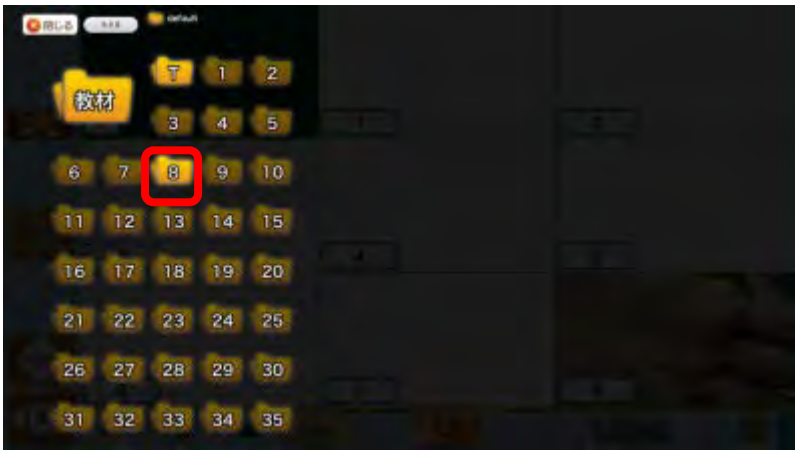


②　「画像登録ボタン」 を押します。



③「動画登録」ボタンを押します。

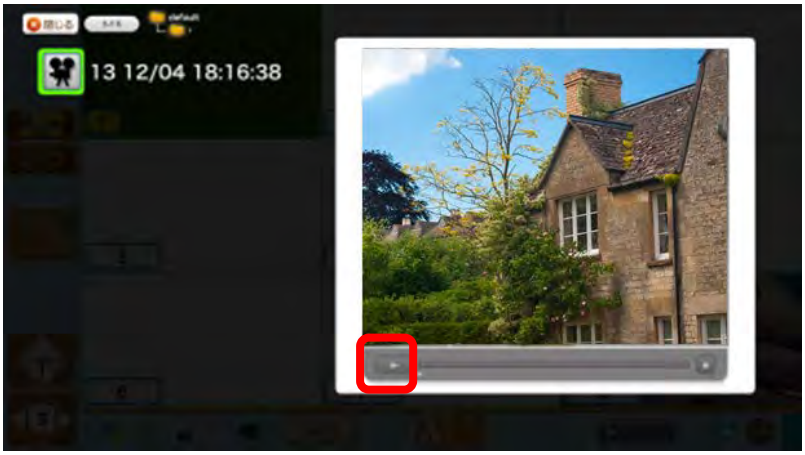
※動画は授業の中で１つしか
登録できません。
別の動画を表示したい場合には、
前の動画を削除ボタンで削除して、
別の動画を読込んでください



④ 生徒のフォルダ（１～48）から動画を選択します。

※明るく表示されているフォ
ルダはデータが存在するこ
とを示しています。

※番号は出席番号を示してい
ます。

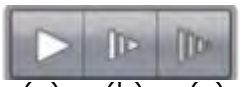


⑤生徒が保存した動画が表示されますので、電子黒板で再生したい動画を選択します。

（プレビューボタンでプレビュー再生が可能です）

この動画でよければ、左の動画アイコン を再度クリックします。

⑥ 動画が表示されます。
右下の動画再生ボタン等で動画を再生します。



(a)　(b)　(c)

(a) 再生
通常再生します

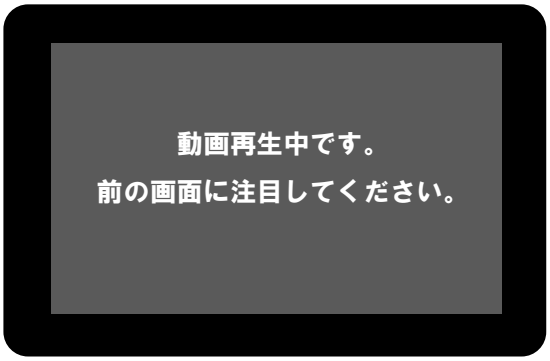
(b) スロー再生
1/4 倍速で再生します

(c) 超スロー
1/8 倍速で再生します

※いずれのボタンも二度押すと一時停止します

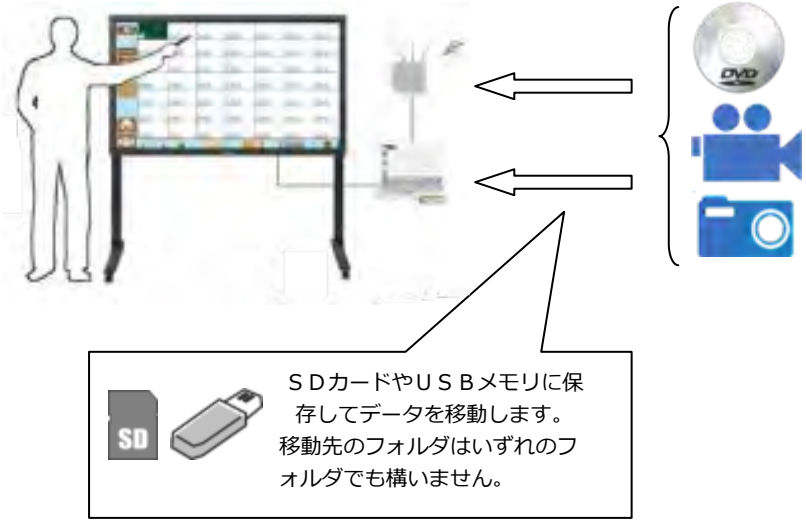
⑦ 電子黒板で動画の再生中、生徒用端末では左図のように表示されています。

【生徒用端末】



エクスプローラを利用しての画像・動画の読込み

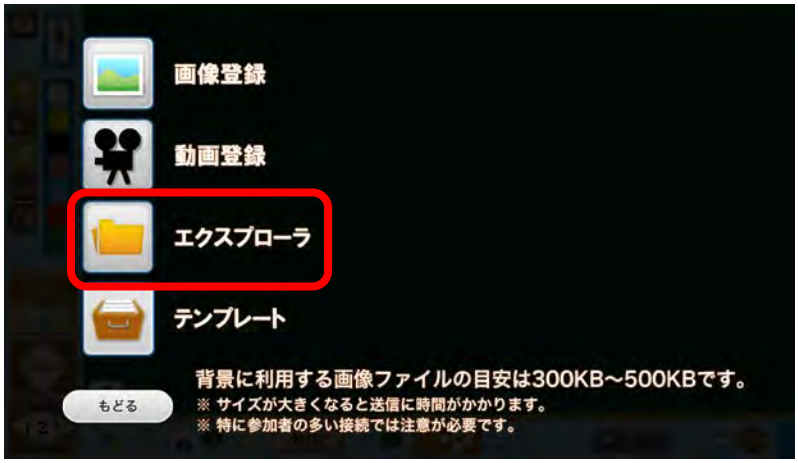
電子黒板用ＰＣに保存してある画像や動画を電子黒板アプリに読込みます。



① 画像・動画を準備し、電子黒板用アプリに読込可能な形式で保存します。

※ 読込可能な画像形式は、jpg です。

※ 読込可能な動画形式は、MP4 , MOV,3gp です。
(注意) これらの動画形式であっても変換の仕方等によって読込や再生ができない場合があります。



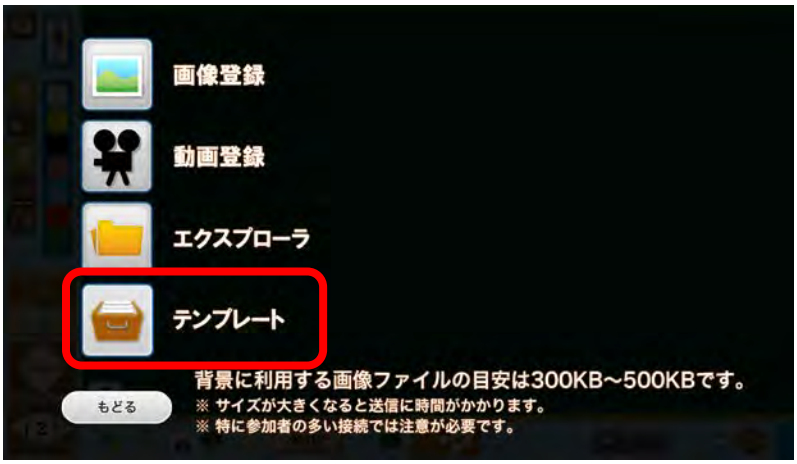
② エクスプローラを選択します。

Windows のエクスプローラが起動しますので、ローカルフォルダからデータファイルを選択します。

③ 左の画面が立ち上がりますので、画像を確認したのち「登録」を選択します。

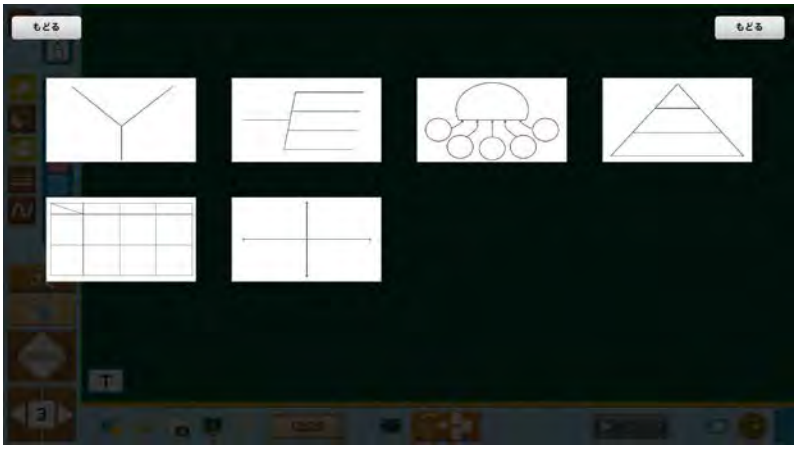
テンプレート画像の読込み

アプリに組み込まれているテンプレート画像（カードモード用）を電子黒板アプリに読込みます。



① テンプレートを選択します。下の図のようなテンプレート一覧画面が表示されます。

※ C ドライブ＞gl50＞templateimage の中に jpg 形式の画像を保存するとテンプレートとして利用できます。



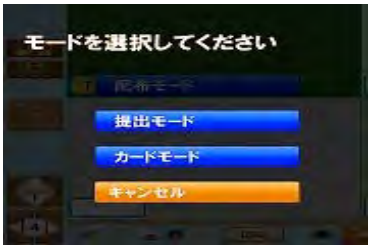
② 読み込みたいテンプレート画像を選択すると、電子黒板にテンプレートが読み込まれます。

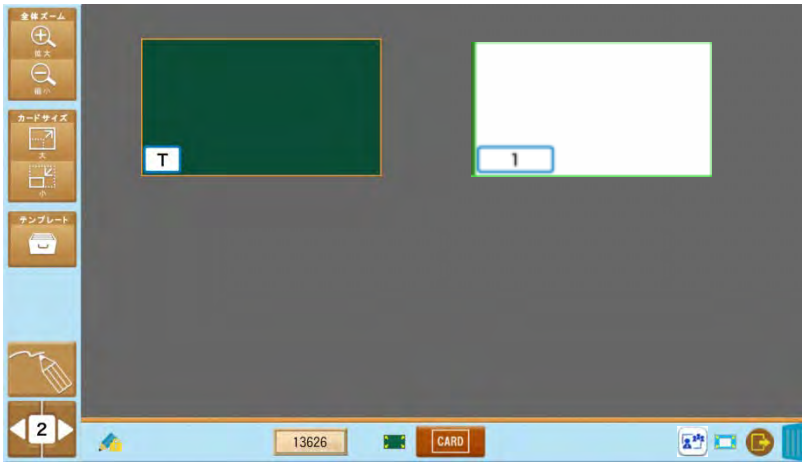
カードモード

生徒用アプリの分割画面を、カードのように、自由に移動、拡大・縮小して、分類することが出来ます。
※提出モード、または、カードモードのページの前後に、カードモードを設定することはできません。

①モード切替えボタンを押します。

※表示されるダイアログ画面からカードモードを選びます。





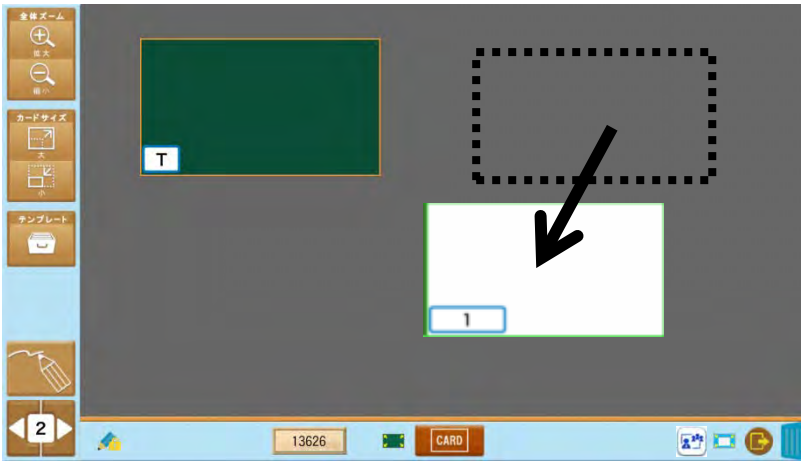
②画面が左図のように変わります（カード画面表示）。
※左図は生徒端末 1 台が接続している場合の画面。

画面全体の拡大・縮小を行います。
背景画像（テンプレート）を含む画面全体が拡大・縮小されます。

分割画面（カード）のみ、拡大・縮小されます。

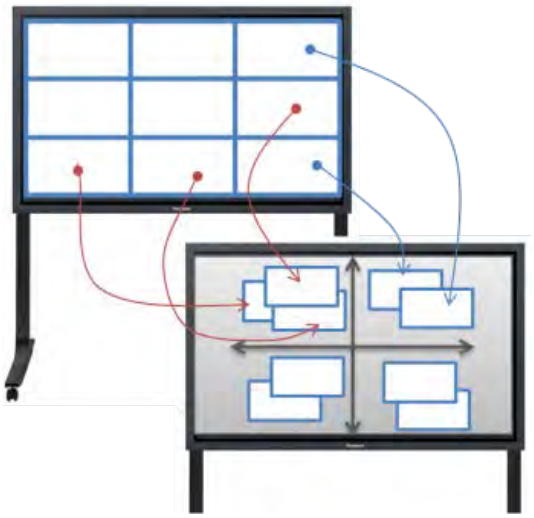
テンプレートを読み込みます。
※ C ドライブ＞gl50＞templateimage の中に jpg 形式の画像を保存するとテンプレートとして利用できます。

③画面上の縦メニューのボタンを使って分割画面の大きさの変更や、テンプレートの読込みを行います。



④ 画面上で、各分割画面（カード）を「ドラッグ」すると、移動することができます。

※ 画面に表示される生徒端末の画面は、生徒端末側で「公開」指定されている必要があります。



つまり、各生徒端末の画面を、テンプレートを読み込んで、大きさを変えて、電子黒板上で自由に再配置できますので、左図のように、思考ツールとして活用できます。

【カードモード時に使える各機能】

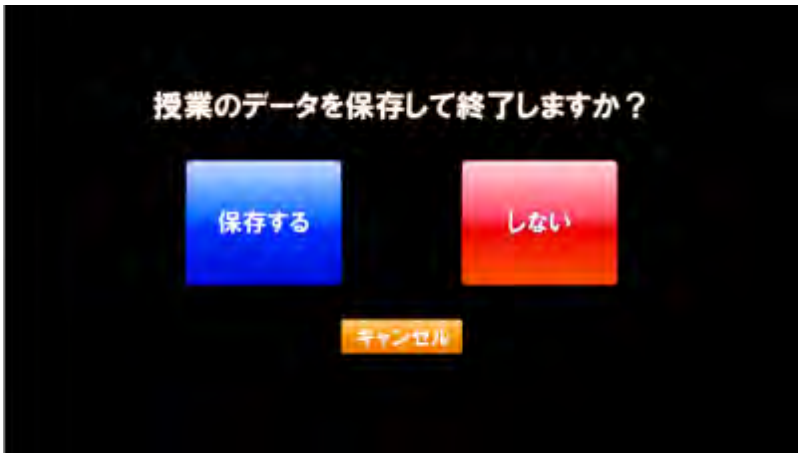
（1）任意のカード画面をダブルクリックすると、そのカードが拡大表示されます。
もう一度画面をクリックすると元の大きさに戻ります。
※生徒端末からの書き込みや拡大操作がリアルタイム（5 秒おき）に反映されます。

（2）カード画面の名札をクリックし「共有しない」を選択すると、電子黒板上で全画面表示できます。
※生徒端末からの書き込みや拡大操作がリアルタイム（5 秒おき）に反映されます。
※電子黒板側からも書込みや拡大操作を行うことができます。

※ 写真などの画像データを多数使用すると、システムが不安定となる原因となる場合があります。
一授業あたりの画像使用数は、200 枚程度までとしてください。

授業の終了

① 授業を終了するに「授業終了ボタン」を押します。



② 左の画面が表示されます。

「保存する」

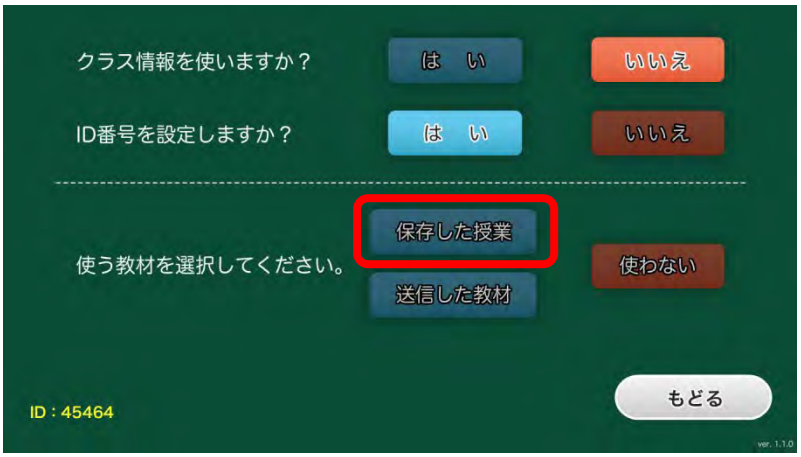
授業終了直前の授業データ（教材画像、登録　した画像や動画、クイズ・アン　ケートの設定、スタンプの設定、　配布／提出モードの設定、先生　及び生徒の手書き情報）が保存されます。但し、動画を読込んだ情報はリセットされます。

「しない」

授業のデータを保存せずに終了します。

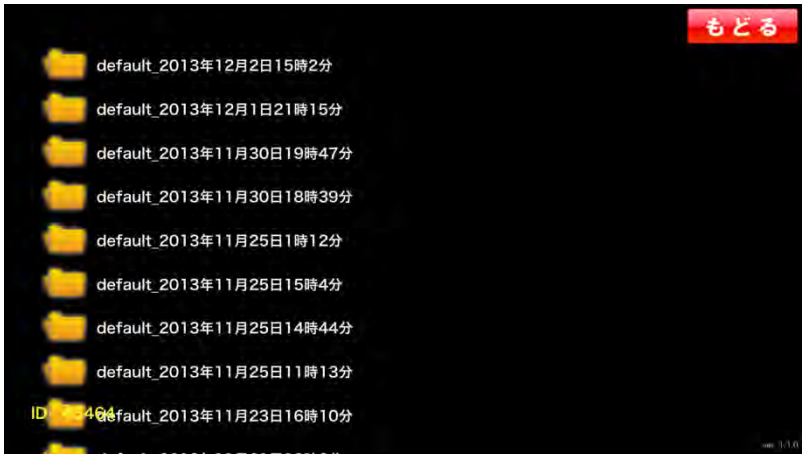
③ 授業が終了しました。
（最初の画面に戻ります）

授業データの保存について



① 授業終了時に「保存する」を選んだ場合は次回以降、授業をする際に「教材」の設定時に選択することができます。

「保存した授業」を選びます。

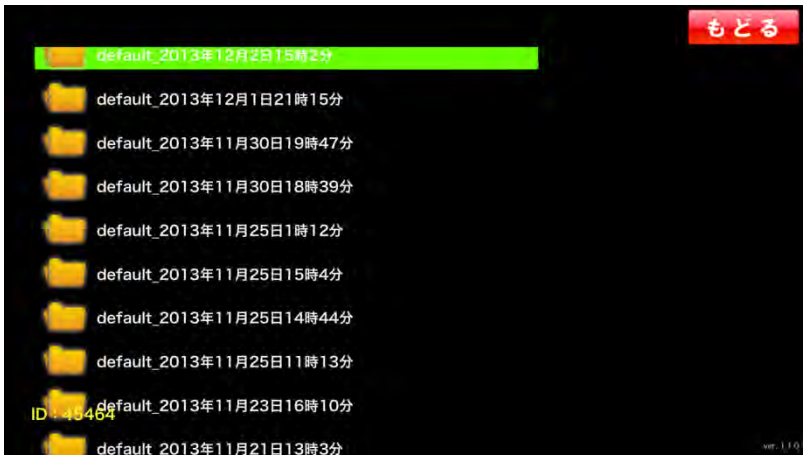


② 保存された授業一覧が表示されます。

【クラス情報で授業した場合】
クラス名_保存日時のフォルダ

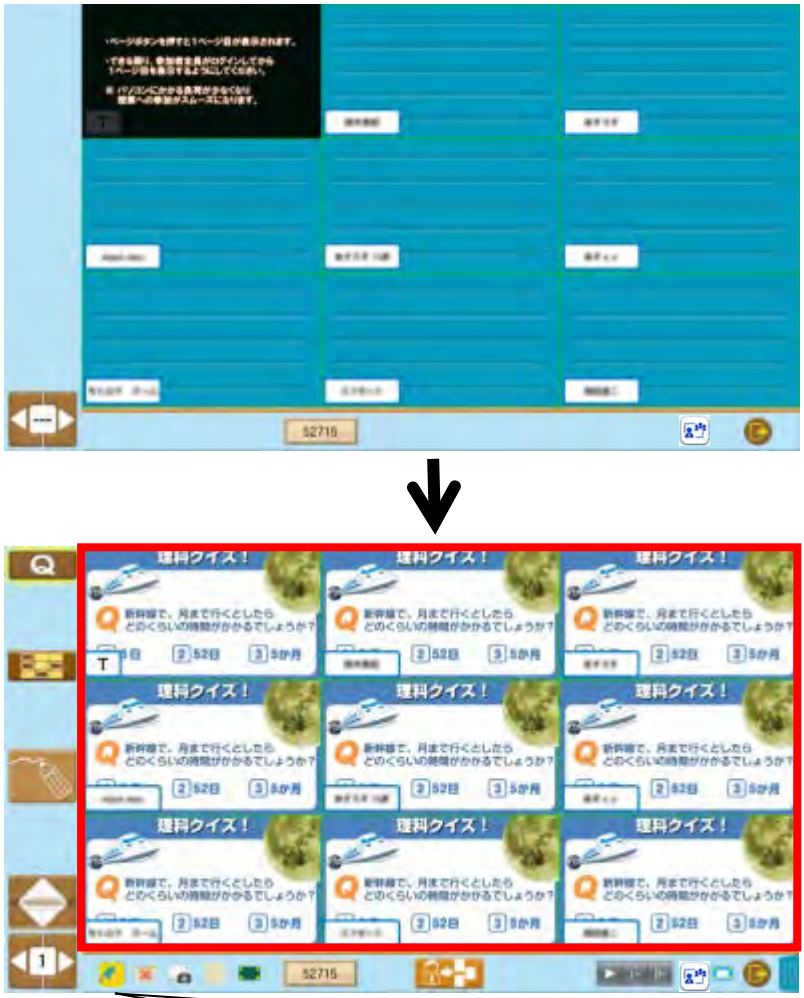
【ID で授業した場合】
default_日時のフォルダ

※これらの授業データは、PC のデスクトップに自動生成された"eTalkie GL50"という名前のフォルダに保存されています。



③ 読み込みたい授業を 2 回クリックすると、授業データが読み込まれます。

※保存された授業データが無い場合には、「保存された授業がありません」のメッセージが表示されます。



④ 保存した授業のデータを使って、再度授業を行う場合、保存したデータと同じクラス情報で授業を行う必要があります。

※保存した授業データを使って、ID 番号で生徒が入室した場合、入室順に割り振られますのでご注意ください。

「ページボタン」を押すと 1 ページめが開きます。

※保存したデータで授業を開始した場合には、**ロックがかかった状態**になっていますのでご注意願います。

【保存したデータで授業を行う際の注意点】

i) ＩＤによる保存授業データを使って授業を開始した場合、生徒端末と同じ出席番号のデータが、その生徒端末に読み込まれます。

ii) クラス情報による保存授業データの場合、保存した授業に参加していたクラスの生徒のみ参加することができます。保存データを使って授業を開始した場合には、同じ出席番号の枠に割り当てられます。このとき、生徒の端末が別のものに変わっていると、保存データと同じ個人情報データが入力されていてもその端末は授業に参加できません。

iii) 古いバージョンのアプリで保存したクラス情報による授業のデータは、電子黒板アプリに読込んで表示することはできますが、生徒が参加して授業を行うことはできません。
ＩＤによる保存データの場合には、i)と同様です。

iV) 提出モード、カードモードで生徒アプリで撮影した写真・画像は、生徒端末側で画面左下のカメラアイコンを押して画像を読み込まなければ、子機上では表示されません。